

CODE 海外災害援助市民センター
2023年度 事業報告

【1. 海外災害地への救援活動事業】

* 終了予定時期は、一応の目標であるが、その時点で継続の必要性があれば、理事会の協議を経て決定する。

項目	番号	プロジェクト名	開始時期	終了予定期間
●継続プロジェクト	1	アフガニスタン救援プロジェクト	2003年	2026年度末
	2	中国・四川省地震プロジェクト	2008年	2023年度末
	3	ウクライナ・ロシア避難民支援	2022年	2023年度末
	4	トルコ・シリア地震	2022年	2024年度末
●新規プロジェクト	5	能登半島地震	2024年	2025年度末

●継続プロジェクト

事業名	1-(1)アフガニスタン救援プロジェクト
実施日時	2003年～継続中
実施場所	アフガニスタン・カブール州ミールバチャコット県
受益対象者の範囲及び予定人数	ミールバチャコット地域の約 2500 世帯。これまで本事業の融資で直接裨益した農業従事者はのべ 550 世帯(2024年3月末時点)。
実施内容	<p>●ぶどう畠再生支援事業 *これまでの経緯</p> <p>イスラム主義勢力タリバンによって焼き払われたミールバチャコット地域のぶどう畠を再生するプロジェクトが 2003 年からスタートした。300 万円を原資に 288 世帯が参加し、現地の農家たちで作る「ぶどう生産者協同組合」が運営し、各村(4 村)から 1 名が選ばれる“コープラティブシューラー”が管理してきた。この 20 年間で 550 世帯に増加した。</p> <p>2007 年から 2009 年の 3 年間は JICA 草の根技術協力事業(地域提案型)に採択され、農家の方々を日本に招いて有機農業技術の研修を行った。日本で技術を学んだ農家たちは、その技術をアフガニスタンで活かしながら、日本の棚式のぶどう栽培を行い、収量が拡大し、同時に同地域に日本で学んだ有機農法を広めた。</p> <p>また 2013 年からは現地のレーズンを日本に輸入し、レーズンを通じてアフガニスタンの状況や文化など学ぶ機会(食と国際協力など)を提供してきた。これまでに 570 kg を輸入・販売した。</p> <p>2003 年からカウンターパートとしてお世話をいただいた R さんが、2017 年交通事故で逝去された。R さんは、CODE と共にぶどう再生プロジェクトを行ってきた。R さんが亡くな</p>

	<p>つた後は、ご子息の F さんが引き継ぎ、レーズンの輸出業務をサポートしていただいてきた。</p> <p>2021年8月15日、イスラム主義勢力タリバンはアフガニスタン全土を制圧し、「アフガニスタン・イスラム首長国」の樹立を宣言した。20年間駐留したアメリカ軍の撤退を機にタリバンが復権し、圧政を恐れ国外へと退避した人の数は12万人以上にのぼる。</p> <p>日本にも約800名のアフガニスタン人が退避してきたが、大使館やJICAの職員のみに限られ、その家族の帯同は認められなかった。先述したFさん家族多数は国外退避を求め、CODEはFさんへの様々な情報の提供、関西NGO協議会を通じて外務省やJICAへの提言などを行ってきたが、彼らの退避は実現せず、いまだアフガニスタンに留まらざるを得ない状況にある。政変以降の治安の悪化などからFさんとの交信が途絶え、ぶどうプロジェクトの中止が余儀なくされた。</p> <p>また、12月にアフガニスタンから神戸市内へ退避してきたSさんをサポートするFさん(アメリカ在住)を通じて、避難者受け入れの保証人Mさんを紹介していただいた。その後、Sさんにも「MOTTAINAIやさい便」【*1-(3)】参照を届け、時折アフガニスタンの状況をヒアリングしてきた。</p> <p>レーズンの輸入・販売に関しては、2021年8月のタリバンによる全土制圧後、社会の関心が高まったことから、CODEの在庫10kgのレーズンがすぐに完売した。</p> <p>2022年は、ロシア軍によるウクライナ侵攻が起きたことやアフガニスタン、ミャンマーでの政変やクーデーターの状況を踏まえ、近畿ろうきん、関西NGO協議会との共催で「難民について考える 今世界で起きている事に私たちはどう向き合うのか ~ウクライナ・アフガニスタン・ミャンマーから見える日本~」を2回シリーズで開催した。詳細は以下。</p> <p>◎CODE 寺子屋 2022 「難民について考える 今世界で起きている事に私たちはどう向き合うのか ～ウクライナ・アフガニスタン・ミャンマーから見える日本～」</p> <p>・第1回「難民、避難民に対して市民・NGOは何ができるのか」 講 師:折居徳正さん(パスウェイズ・ジャパン代表理事) 田中恵子さん(RAFIQ在日難民との共生ネットワーク共同代表)</p> <p>日 時:2022年8月7日(日)10:00~12:00 開 催:対面(こうべまちづくり会館)とオンライン 参加者:58名(対面17名、オンライン41名)</p> <p>・第2回「日本における難民の保護は適正か ~ウクライナ・アフガニスタン・ミャンマーから見える日本の保護のあり方」 日 時:2022年9月16日(金)18:00~20:00 開 催:オンライン 参加者:37名</p> <p>2023年後半から現地のFさんと連絡が途絶えた事で安否が心配されたが、2024年に入ってからコンタクトが取れるようになり、今後のレーズン輸入販売の再開な</p>
--	---

	どについて協議を開始した。
--	---------------

事業名	1-(2)中国・四川省地震救援プロジェクト・新型コロナウイルス感染症支援
実施日時	2008年5月13日～継続中
実施場所	四川省地震の被災地域
受益対象者の範囲及び予定人数	(四川大地震)四川省北川県光明村村民約700名および周辺住民 (新型コロナウイルス感染症) 湖北省武漢市民やボランティア
実施内容	<p>*これまでの経緯</p> <p>◎四川大地震</p> <p>2008年の四川大地震直後からCODEはスタッフの吉椿を現地に派遣し、北川県光明村において、アジア各国のボランティアたちとガレキの片づけ、仮設住宅建設補助、村祭り開催などの活動を行いながら、被災者に寄り添い、被災者との関係を築いてきた。</p> <p>また、2011年、光明村の拠点「老年活動センター」を伝統木造構法で建設し、村民の祭りなどのイベントの会場として活用してきた。また、村民自身がセンターを活用し、農家樂(農家レストラン)として運営してきたが、2014年、村の書記・村長が退任したことや出稼ぎが増えたことから、センターが活用される機会が減っていった。</p> <p>2015年からは震災後につながった四川の「NGO備災センター」の張国遠さんとの連携をより促進し、日中双方での学び合いの場を作ってきた。2015年からは、日中NGOボランティア研修交流事業(以下参照)を開始し、全5回で日本の大学生・高校生29名が四川省の被災地で学びを深めた。また、この事業がきっかけで2017年「中日減災・防災国際交流事業」が実現し、中国の学校関係者やNGOスタッフ23名が神戸で防災・減災の学びを深める機会を提供することができた。その後も、2018年、2019年の四川省での「中日安全技術研修」(参加者25名)では、大阪大学の渥美教授らと吉椿が講師を務めた。</p> <p>2019年には、台湾集集地震20周年で、台湾、四川、KOBEの三者交流を実施し、台北の国立政治大学で開催された国際シンポジウム「複合災害の協力におけるガバナンス」に張国遠さん、渥美教授、CODE吉椿が参加した。その後も、台中の埔里県の堅南大学で開催された国際シンポジウムにも張さんは登壇し、四川での取り組みを紹介や南投県桃米地区の復興の視察などを行った。</p> <p>2020年1月には「世界災害語り継ぎフォーラム」にCODEのカウンターパートのエコ・プラウォトさん(インドネシア)と張国遠さん(中国四川)をお招きし、CODE寺子屋特別編を開催し、共に学び合う場を設けた。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症</p> <p>2019年12月、新型コロナウイルス感染症が最初に爆発的に感染の広がった湖北省武漢市(人口1300万人)は76日間ロックダウンした。これまで連携してきた張国遠さん(NGO備災センター、新安世纪教育安全科技研究院)からCODEと渥美教授(大阪大学)に協力</p>

	<p>要請があつたことから CODE の救援を開始した。張さんたちは、オンラインでボランティアを募り、取りこぼされる高齢者や障がい者、ホームレスを支える武漢の市民ボランティアを遠隔で支える仕組みを構築した。</p> <p>3月には張さん、渥美教授、CODE 吉椿が呼びかけ人となり、国際アライアンス「IACCR」を立ち上げ、台湾、中国、フィリピン、インドなど 14 の国と地域で民間の取り組みや経験などを共有する学び合いの場を 16 回開催し、CODE は IACCR 事務局の運営をサポートした。</p> <p>2022 年度末時点で、中国を含めた世界の感染状況も落ち着いてきた事から本事業を終了し、「IACCR」は今後、通常の災害対応に切り替え、中国四川の NGO と連携していく。</p> <p>◎日中 NGO ボランティア研修交流事業</p> <p>2015 年から毎年、実施してきた日中 NGO ボランティア研修交流事業(未来基金事業の一環)は、日本の高校生や大学生が四川大地震の被災地を歩き、被災者や NGO と交流し学ぶ企画であるが、これまでに 5 回実施し、29 名が被災地の現場で学んだ。2019 年度からはコロナ禍のため休止している。2023 年度もコロナ禍の影響による政府の様々な規制などの理由で休止とした。</p> <p>【2023 年度の主な動き】</p> <p>コロナ後、中国への渡航ができない状況続き、また中国国内で NGO などへの規制が厳しい状況が続き、中国に渡航する事が難しかった。4 月から 7 月まで中国人留学生の李小雨さんがインターン生として CODE の活動にご協力いただいた。将来、国際機関を志望している李さんを CODE と連携している四川の NGO を紹介した。</p> <p>4/20 中国人インターン李小雨さん来所 7/4 李小雨さんお話し会を開催 (島村さん、植田さん、那須さん、山村、吉椿)</p>
--	--

事業名	1-(3) ウクライナ・ロシア支援
実施日時	2022 年 2 月 24 日～継続中
実施場所	兵庫県神戸市内
受益対象者の範囲及び予定人数	兵庫県内に避難してきたウクライナ・ロシアの人たち約 100 名
実施内容	<p>2022 年 2 月 24 日、ロシア軍によるウクライナ侵攻が起き、2 年以上を経た今も日本には 2631 人のウクライナからの避難者の方が在留している。(兵庫県内にはウクライナには 102 名 / 2024 年 6 月末時点)。</p> <p>CODE は、2021 年度末からウクライナだけでなく、ロシアの状況も注視し、情報収集を行ってきた。淡路島に住むロシア人イリーナさんを通じて、神戸市内に避難してきたウクライナ人の避難者の方をご紹介いただき、5 月からは「MOTTAINAI やさい便」を直接ウクライナから避難してきた方々に届け始めた。</p>

	<p>◎「MOTTAINAI やさい便」</p> <p>2022年5月から開始し、これまでに約250回(週1回)の野菜を提供してきた。現在、東灘区、長田区、須磨区、兵庫区、北区、西区、中央区の17世帯42名に毎週、新鮮な野菜を配達している。野菜を届ける際に避難者の方々とのコミュニケーションを通じて見えてきたニーズに対応してきた。これまでに引っ越し5回、自転車提供3台、家電設置や通訳、暖房器具提供、送迎などを行ってきた。</p> <p>8月には神戸市内の公園でウクライナー日本交流会を開催し、72名(ウクライナ人42名、日本人30名)が参加し、BBQ、ゲーム、歌などで交流を行った。またその出会いがきっかけで丹波の有機農家のグループ「ムラとマチの奥丹波」の皆さんのご協力で9月に「稻刈り」にウクライナ人7名が参加した。</p> <p>11月には、チョ・ホンリさんの描いた戦争前のウクライナの風景を描いた「スケッチ展」をCODEと共同で開催し、ウクライナの避難民の状況も報告させていただいた。</p> <p>その他、この「MOTTAINAI やさい便」でクラウドファンディングを検討するための会議を2回開催したが、実施には至らなかった。</p> <p>2023年は、下記の「MOTTAINAI やさい便」は毎週1回、17世帯42名に配達をしてきたが、2024年1月に発生した能登半島地震が起きた事で休止状態になっている。「子守りボランティア」は、ウクライナの対象世帯が帰国や多忙になった事で、夏より休止することとなった。「農業ボランティア」はのウクライナのLさんが多忙になった事で同様に休止になった。また、5月7日には賛助会員の山本健一さんのご尽力で、ウクライナ避難民の方を対象に姫路市網干のみろく農園さんでイチゴ狩りを行った。ウクライナの7名とCODEの関係者5名も参加し、網干の方々と交流した。</p> <p>◎「MOTTAINAI やさい便」の詳細</p> <p>○購入先:ムラとマチの奥丹波(丹波市)、ジコモファーム(丹波篠山市)、コーパスこうべみずほ協同農園(三木市)、元CODE理事村上さん(神戸市の西区)、の～ら(豊岡市)、とびまつ森の会(神戸市須磨区)、高木農園(神戸市北区)、その他、神戸市内やたつの市、長崎県島原市などの個人(竹内由美さん、旭芳郎さん、河崎紀子さんなど)</p> <p>○提供先:子ども食堂(神戸市内2か所)、ベトナム寺院和楽寺(神戸市)、日越交流センター(神戸市)、在神戸のベトナム、ネパールなどの留学生・技能実習生(神戸市)、国際交流シェアハウスやどかり(神戸市)、藤家外国語学院(神戸市)、アフガニスタン退避者(神戸市)、ウクライナ避難者(神戸市)など</p> <p>○提供先の国籍:ベトナム、ネパール、ミャンマー、インドネシア、バングラデシュ、インド、中国、アフガニスタン、ウクライナ、モルドバ、ロシア、日本</p> <p>○配達:車両2台で村井理事(草地とし子さんが車両とガソリン代を提供いただいている)と吉椿の2台で毎週配達している。</p> <p>◎農業ボランティア *2-(4)CODE未来基金に再掲 一人のウクライナ避難者の声から、農業体験が始まった。元CODE理事の村上忠孝さ</p>
--	--

	<p>んの西区の菜園にウクライナ人 L さんが、学生ボランティアと共に毎週、農業を体験し、L さんの生きがいの創出につながっている。2023年8月より休止。</p> <p>◎子守りボランティア * 2-(4)CODE 未来基金に再掲 12月からは、ウクライナ避難者で母子家庭の母親たちのストレス軽減のために学生スタッフが中心となり「子守りボランティア」を開始した。これまでに20名の高校生、大学生が参加し、3世帯の子守りを約40回行ってきた。2023年8月より休止になったが、ウクライナから日本に戻ってきた家族も出てきた事から2024年3月より再開した。</p> <p>・これまでの実績 12/1 島村さん、12/18 植田昌菜さん、植田隆誠さん、12/19 島村さん、リアさん 12/20 山村さん、12/2 植田さん、12/22 那須公香さん、植田さん 12/23 山村さん 12/25 島村さん、リアさん 2023年 1/5 島村さん、1/8 山村さん、1/9 植田さん、有田さん、吉椿 1/15 島村さん、吉田さん 1/1 島村さん、吉田さん、1/22 植田さん、中澤さん、濱田さん 1/23 山村さん、 有田さん、1/29 島村さん、植田さん、樋上さん、1/30 山村さん、那須さん、 2/2 植田さん、高島さん、施さん、樋上さん、2/5 島村さん、樋上さん、 2/7 植田さん、樋上さん、2/13 島村さん、2/14 島村さん、施さん、高島さん 2/19 樋上さん、山根さん、2/20 有田さん、2/26 樋上さん 2/28 樋上さん、施さん、 高島さん、3/5 樋上さん、島村さん、3/6 有田さん、3/7 樋上さん、施さん、高島さん 3/12 樋上さん、3/19 樋上さん、3/21 樋上さん、3/22 高島さん、施さん 3/23 高島さん、施さん 3/26 樋上さん</p> <p>◎主な動き 5/2 とびまつ中学菜園手伝い(Liliaさん、山村さん、村井理事) 5/7 みろく農園(網干)のイチゴ狩りにウクライナ避難者と参加 (ウクライナ避難者 7名、山本健一さん、山村、島村さん、立部さん、吉椿) 5/8 5/8 子守りボランティア勉強会を開催(島村さん、植田さん、樋上さん、那須さん、 有田さん、村井理事、山村、吉椿) 5/11 MOTTAINAI やさい便に学生ボランティアの参加(樋上さん、李小雨さん、吉椿) 5/23 とびまつ中学菜園手伝い (Liliaさん、山村、村井理事) 5/24 NHK 震災 30年企画でウクライナ避難者ヘビアーリング(吉椿) 6/16 兵庫県ウクライナ支援課来所(山村、吉椿) 兵庫県生活協同組合連合会、江見さん来所(吉椿) ウクライナ支援イベント打ち合わせ(山村、吉椿) 6/20 とびまつ中学菜園手伝い(Liliaさん、村井理事) 6/27 とびまつ中学菜園手伝い(Liliaさん、村井理事、山村) 6/28 ウクライナ憲法記念日イベントでサポート(植田さん、島村さん、山村) 7/4 とびまつ中学菜園手伝い(Liliaさん、村井理事、山村)</p>
--	--

	8/7 ウクライナ独立記念日イベント打ち合わせ(山村、吉椿) 8/24 ウクライナ独立記念日イベントのサポート(山村) 9/6 ウクライナ人の引っ越しサポート(村井理事、近藤さん、山村、吉椿) 2024/2/24 ウクライナ侵攻2年追悼の集いに参加(山村)
事業の目標と 終了予定時期	ウクライナの戦争が長期化の様相を呈し、日本に避難してきた人たちもしばらくは祖国に戻ることができないことを想定して、終了は一応2023年度末とする。

事業名	1-(4) トルコ・シリア地震支援
実施日時	2023年2月6日～継続中
実施場所	トルコ共和国ガジアンテプ県、カフラマンマラシュ県、アディヤマン県など
受益対象者の 範囲及び予定 人数	仮設住宅に居住する被災者約1000人
実施内容	<p>2023年2月6日、トルコ南東部を震源とする大地震が発生し、トルコとシリア両国で約5万9000人が亡くなった。約250kmの東アナトリア断層が大きく動きた事で被害が広範囲にわたった。</p> <p>【地震の概要】</p> <p>日 時: 2023年2月6日(月)4:17(日本時間 10:17)</p> <p>震 源: トルコ東南部ガジアンテプ県ヌルダ郡東 26 km</p> <p>規 模: M7.9 深さ 17.9 km</p> <p>余 震: 2/6 13:24(日本時間 19:24)に M7.5</p> <p>2/21 20時すぎ M6.3 の余震が発生 *これまでに1万1000回以上の余震</p> <p>被災地: ハタイ県、ガジアンテプ県、カフラマンマラシュ県、アディヤマン県、マラティア県、ディヤルバkul県、アдан県など 11 県</p> <p>被 害: 死者 5万8976人、負傷者 11万人以上(2023年4月時点) (トルコ 5万500人、シリア 8476人)</p> <p>被災者 1560万人(約100万人がテントや避難所で生活)</p> <p>倒壊家屋 約34万5000棟(トルコ国内)</p> <p>CODEは発災直後、copeこうべ河崎紀子さんから、トルコ・ネブシェヒル在住の日本語教師、藤本憲志さん(元copeこうべ職員)を紹介していただいたことや1999年のマルマラ海地震の際に通訳としてご協力いただいた岩城あすかさん(箕面市国際交流協会事務局次長)などのご縁から迅速な初動を行う事ができた。4日後の2/10に事務局長の吉椿とインターーンの植田隆誠さん(関西学院大学3年生)の2名を現地に派遣し、被災地の調査、被災者へのヒアリング、現地NGOとの協議を実施した。(第1次派遣)</p> <p>なお、この第1次派遣では、copeこうべハート基金から初動調査資金として100万を拠出していただいた。また、アウトドアブランド「モンベル」よりもテント、寝袋、防寒具などの救援物資も提供いただき、被災者へ配布した。</p>

	<p>その後、第2次、第3次派遣では、現地のNGO、ACEVの「子どもと家族のケアセンター」を被災地の3か所(ヌルダ、アディヤマン、ハタイ)の仮設住宅村の中に建設するプロジェクト(建設費2400万円、運営費2000万円)に、CODEとして建設費、運営費の一助として500万円を支援することを決定した。この「子どもと家族のケアセンター」では、被災した未就学児の子どもたちを保育し、トラウマを抱えた子どもやその家族のケアも行っている。11月にトルコ・日本ユースボランティア企画(以下に詳細)で日本の学生たちがトルコを訪問した際にヌルダのケアセンターで「防災ダッグ」のワークショップで子どもたちや保育士たちと交流させていただいた。</p> <p>第4次派遣では、政治的、宗教的な理由から支援から取りこぼされている最大の被災地のハタイ県を訪問した。筑波大学の木村周平教授より情報をいただき、ハタイの被災状況や8つのNGOの活動状況などを調査した。中でも、震災後に被災者自身が立ち上げたNGO「Dayanışma Gönüllüler (ダヤニシマ ギョヌルレ:連帯ボランティア)」の活動に注目した。このNGOは、震災直後に被災者自身が仮設住宅で共同生活をしながら立ち上げた団体で、救援物資の配布やコンテナ図書館で子どもたちへの学習指導、アスベストで汚染された水の浄化システムを作製し、きれいな水を地域住民に提供している。「一人ひとりがリーダーである。」という考え方をメンバーで共有しており、「自分たちの力を証明したい!」と被災者主体の理念を持っている。</p> <p>ダヤニシマは、自ら設立した共同組合の共有スペースの建設を計画しており、日本と耐震についても学びたいという事から、CODE理事会での協議を経て、このNGOとハタイでの新たな支援プロジェクトを実施することになった。</p> <p>【第1次派遣の概要】</p> <p>目的:復興支援に向けた初動調査、ヒアリング、防寒物資提供</p> <p>日程:2023年2月10日(金)~18日(土)*現地滞在6日間</p> <p>訪問地:ガジアンテプ県ガジアンテプ市、ヌルダ郡 カフラマンマラシュ県カフラマンマラシュ市 アディヤマン県</p> <p>派遣者:植田隆盛(CODEインターン、関西学院大学3年生) 吉椿雅道(CODE事務局長)</p> <p>協力者:藤本憲志さん(ネブシェヒル大学日本語学科講師、元コーポこうべ人事教育部) ウムートさん(通訳:ネブシェヒル大学日本語学科3年生) オーズハンさん(通訳:ネブシェヒル大学日本語学科3年生) ハサンさん(NGO ACEVコーディネーター 99年通訳 岩城さんの義弟) メハメットさん(Active Participants Association メンバー)</p> <p>内容:被害状況の調査、被災者へのヒアリング、救援物資(モンベルの防寒具、雨具、テント、マットなど)の提供、現地NGOやボランティア団体との協議など</p> <p>その後、3/21から第2次派遣として、事務局長の吉椿とインターンの島村優希さん(大阪大学3年生)の2名がトルコの被災地へ向い、その後被災地の状況調査や現地NGOとのより具体的な支援プロジェクトの協議を行った。</p>
--	---

	<p>【第2次派遣の概要】</p> <p>目的:復興支援プロジェクトに向けた調査、現地NGOとの協議、被災者へのヒアリング、救援物資(子ども服など)提供、小学生のメッセージの伝達(手紙、歌)</p> <p>日程:2023年3月21日(火)～31日(金)*現地滞在8日間</p> <p>訪問地:ガジアンテプ県ガジアンテプ市、ヌルダ郡、サクチャゴス町、エナテペ村 カフラマンマラシュ県カフラマンマラシュ市 アディヤマン県アディヤマン市</p> <p>派遣者:島村優希(CODE インターン、大阪大学3年生) 吉椿雅道(CODE 事務局長)</p> <p>協力者:藤本憲志さん(ネブシェヒル大学日本語学科講師、元コーポこうべ人事教育部) オズさん(通訳:アンカラ大学大学院生) ハサンさん(NGO ACEV コーディネーター 99年通訳 岩城さんの義弟) メハメットさん(Active Participants Association メンバー)</p> <p>内容:現地NGOが建設する仮設住宅の状況を調査、現地NGOとのプロジェクトの協議、中学校での災害に関する講義、ガジアンテプのNGOやボランティアたちとの意見交換会など</p> <p>◎第1次派遣報告会の開催</p> <p>日時:2023年2月26日(日)14:00～16:30</p> <p>場所:対面(ふたば学舎)、オンライン</p> <p>報告者:植田隆誠(CODE インターン)、吉椿雅道(CODE 事務局長)</p> <p>参加者:対面37名、オンライン88名</p> <p>主催:CODE 海外災害援助市民センター</p> <p>◎CODE 寺子屋特別編「被災地を知る～トルコ・シリア地震～」</p> <p>日時:2023年3月18日(土)13:30～15:30</p> <p>場所:兵庫区文化センター第三会議室</p> <p>講師:岩城あすかさん(箕面市国際交流協会)</p> <p>参加者:15名</p> <p>◎トルコ・シリア地震「被災地はいま」報告会</p> <p>日時:2023年3月24日(金)18:00～20:00(トルコ時間 12:00～14:00)</p> <p>場所:近畿ろうきん肥後橋ビル12F メインホール</p> <p>報告者:トルコより:島村優希(CODE 学生スタッフ)、吉椿雅道(CODE 事務局長) 会場から:植田隆誠(CODE 学生スタッフ)、山村太一(CODE 学生スタッフ)</p> <p>参加者:68名オンライン(58名、対面10名)</p> <p>主催:CODE 海外災害援助市民センター</p> <p>共催:近畿ろうきん、関西NGO協議会</p>
--	--

	<p>◎第2次派遣報告会の開催 日 時:2023年4月15日(土)10:30~12:00 場 所:オンライン 報告者:島村優希(CODE インターン)、吉椿雅道(CODE 事務局長) 参加者:43名 主 催: CODE 海外災害援助市民センター</p> <p>【第3次派遣の概要】 目 的: カウンターパート ACEV の建設した「子どもと家族のケアセンター」の視察、 被災地の状況調査、被災者へのヒアリング、小学生のメッセージの配布など 日 程:2023年6月18日(日)~26日(月)*現地滞在6日間 訪問地:ガジアンテプ県ガジアンテプ市、ヌルダ郡 カフラマンマラシュ県カフラマンマラシュ市 アディヤマン県アディヤマン市、ハタイ県アンタキア市 派遣者:山村太一(CODE スタッフ) 吉椿雅道(CODE 事務局長) 協力者:藤本憲志さん(ネブシェヒル大学日本語学科講師、元コープこうべ人事教育部) アジャルさん(通訳:チャナッカレ大学3年生) ハサンさん(NGO ACEV コーディネーター 99年通訳 岩城さんの義弟) メハメットさん(Active Participants Association メンバー) 内 容:「子どもと家族のケアセンター」(アディヤマン)の視察、センター長、保育士 たち、センターに通っている子どもの父兄へのヒアリング ハタイ県の調査、被災者へのヒアリング</p> <p>◎第3次派遣報告会の開催 日 時:2023年7月11日(火)19:00~20:30 場 所:オンライン 報告者:山村太一(CODE インターン)、吉椿雅道(CODE 事務局長) 参加者:75名 主 催: CODE 海外災害援助市民センター</p> <p>◎CODE 寺子屋特別編「被災地を知る~災害現場の実践通过对~」 *1-(4)トルコ・シリア地震支援に再掲 日 時:2023年7月28日(金)18:00~19:30 場 所:CODE 事務所 講 師:藤本憲志さん(トルコ・ネブシェヒル大学日本語教師) 参加者:16名</p>
--	---

	<p>【トルコ・日本ユースボランティア交流】</p> <p>目的: トルコの被災地に日本の若者が訪れ、トルコの学生とともに被災地にてボランティアを行うことで、お互いに災害が多い国の若者同士で学び合い、長期的なボランティアの在り方について考える。更にこの若者の交流を通して、より多くの日本とトルコの若者が被災地と継続的なつながりを形成する。</p> <p>日 程: 2023年10月19日(木)～26日(木) * 現地滞在5日間</p> <p>訪問地: ガジアンテプ県ガジアンテプ市、ヌルダ郡 カフラマンマラシュ県カフラマンマラシュ市 アディヤマン県アディヤマン市</p> <p>参加者: 植田隆誠(関西学院大学総合政策学部4年) 島村優希(大阪大学人間科学部4年) 那須公香(大阪大学外国語学部4年) 近藤明日花(関西学院大学人間福祉学部1年)</p> <p>同行者: 山村太一(CODEスタッフ) 吉椿雅道(CODE事務局長)</p> <p>協力者: Hasan(ハサン)Deniz (NGO ACEV Mother Child Education Foundation ディレクター) Gulsah(グルサ)(NGO ACEV ヌルダ子どもと家族のケアセンター所長) Şih Mehmet(メハメット) Doğru (NGO Active Participants Association メンバー) 藤本憲志(ネヴシェヒル大学日本語教師) Hasan Nusret(ヌスレット)Düşük(NGO İz Derneği メンバー) Yusuf(ユスフ) Bolat(Collective Coordination Association(KKD) メンバー) Buket(ブケット)Goncuoglu(ボアジチ大学日本語学生団体リーダー)など</p> <p>通訳: Basak(バシャク)(ハタイ在住、元日本企業通訳) Yusuf(ユスフ)(チャナッカレ大学3年生)</p> <p>内 容: 中学校での防災ワークショップ、ボランティアやNGOとの交流会、被災地の視察、現地NGOの活動に同行、うちわに絵を描くワーク、大学生との防災ワークショップ</p> <p>◎トルコ・日本ユースボランティア交流の報告会を開催</p> <p>日 時: 2023年11月12日(日)10:00～12:00</p> <p>場 所: オンライン(* 報告者はコープこうべが会場)</p> <p>報告者: 植田隆誠さん(関西学院大学総合政策学部4年) 島村優希さん(大阪大学人間科学部4年) 那須公香さん(大阪大学外国語学部4年) 近藤明日花さん(関西学院大学人間福祉学部1年) 山村太一(CODEスタッフ)</p> <p>参加者: オンライン70名</p> <p>主 催: CODE 海外災害援助市民センター</p>
--	--

<p>【第4次派遣の概要】</p> <p>目的:支援から取りこぼされている最大の被災地ハタイ県の被災状況と現地で今も活動しているNGOたちの活動を知り、新たなプロジェクトの可能性を探る。</p> <p>日程:2023年11月14日(火)~22日(水)*現地滞在6日間</p> <p>訪問地:ハタイ県アンタキア、デフネ、サマンダー、イスケンデルンの被災地</p> <p>派遣者:山村太一(CODEスタッフ) 島村優希(CODE学生スタッフ、大阪大学4年生)</p> <p>*今回は、日本災害救援ボランティアネットワーク〈NVNAD〉のサポートで同行</p> <p>吉椿雅道(CODE事務局長)</p> <p>同行者:荒井俊之さん(NHKフリーランス)</p> <p>協力者:藤本憲志さん(ネブシェヒル大学日本語学科講師) 木村周平さん(筑波大学人文社会系准教授) 永田真子さん(筑波大学国際日本研究学位プログラム 博士後期課程1年) エルタン・カラビイクさん(NGO Development Workshop) トウリン・ケシクタシュさん(NGO Hasat Hatay) バシャク・チャクジュさん(通訳、元日本企業通訳) メルベ・チャクナクさん(通訳、PWJのトルコProject Officer)</p> <p>内容:ハタイ県の被災地の現状把握、現地NGOの訪問とヒアリング、新規プロジェクトに向けての調査など</p> <p>◎第4次派遣報告会の開催</p> <p>日時:2023年12月5日(火)18:30~20:00</p> <p>場所:オンライン</p> <p>報告者:山村太一(CODEインターン)、島村優希さん(NVNADによる派遣) 吉椿雅道(CODE事務局長)</p> <p>参加者:20名</p> <p>主催:CODE海外災害援助市民センター</p> <p>【第5次派遣の概要】</p> <p>目的:支援から取り残されている被災者たちのNGOとの協働プロジェクトについての調査と協議</p> <p>日程:2024年2月8日(木)~15日(木)*現地滞在3日間</p> <p>訪問地:トルコ・ハタイ県アンタキア、デフネ、サマンダー</p> <p>派遣者:吉椿雅道(CODE)</p> <p>同行者:荒井俊之さん(NHKフリーディレクター) 島村優希さん(大阪大学4年生、CODE学生スタッフ)*旅行中にトルコで合流</p> <p>協力者:藤本憲志さん(ネブシェヒル大学日本語学科講師、元コーポこうべ職員) メルベさん(通訳、PWJ現地プロジェクトマネージャー)</p> <p>内容:取り残された被災地であるハタイ県の1年後の状況を調査</p>

	現地 NGO を訪問し、今後のプロジェクトについての協議
◎2023年度の主な動き	
4/9 多文化プラットフォーム「被災地のいまから考える」で講演(吉椿)	
4/13 NHK ワールド取材(吉椿)	
4/14 MBS ラジオ「ネットワーク 1.17」に出演(吉椿)	
4/15 トルコ・シリア地震支援第 2 次派遣報告会を開催(島村さん、吉椿) トルコ・日本ユースボランティア交流会を開催 (島村さん、植田さん、山村さん、村井理事、吉椿)	
4/16 アーユス仏教国際協力ネットワーク「トルコ・シリア地震」のヒアリング(吉椿)	
4/19 生活クラブ生協都市生活「トルコ・シリア地震」のヒアリング(村井理事、吉椿)	
4/20 連合大阪「第 94 回大阪地方メーデー」の打ち合わせ(吉椿)	
4/21 神戸新聞取材(吉椿)	
4/22 北陸学院大学で「トルコ・シリア地震」支援報告会(植田さん、島村さん、吉椿)	
4/23 ワンネススクールで「トルコ・シリア地震」支援報告会(植田さん、島村さん、吉椿)	
5/1 連合大阪「第 94 回大阪地方メーデー」で「トルコ・シリア」講演(吉椿) 神戸新聞厚生事業団「トルコ・シリア地震」助成金申請(吉椿)	
5/2 真如苑「トルコ・シリア地震」のヒアリング(山村、吉椿)	
5/8 コープこうべ冬頭さん、藤原さん、寺尾さんとトルコ・シリア地震支援 についての打ち合わせ(村井理事、山村、吉椿)	
5/12-13 レスキューストックヤード「トルコ・シリア地震」支援報告会で報告 (植田さん、吉椿)	
5/15 日本 ホスピス・在宅ケア研究会「トルコ・シリア地震」支援報告会で報告(吉椿)	
5/16 国際協同組合デ一兵庫県記念大会パネル展示の打ち合わせ(江見さん、吉椿)	
5/27-28 カミング KOBE でトルコ・シリア地震のパネル展示(植田さん、間野さん、山村) (被災地 NGO 協働センターとコラボ)	
6/6 トルコの NGO,ACEV とミーティング(ハサンさん、岩城あすかさん、吉椿)	
6/7 神戸新聞厚生事業団、山中さん来所(吉椿)	
6/8 NHK 国際取材(吉椿) 兵庫県教育委員会トルコ・シリア地震ヒアリング(山村、吉椿)	
6/9 NHK 京田さん取材(吉椿) 「トルコ・シリア地震」学生勉強会を開催(島村さん、植田さん、山村、吉椿)	
6/10 防災教育学会で「トルコ・シリア地震」の講演(吉椿)	
6/11 第 2 回トルコ日本ユースボランティア交流会を開催(島村さん、植田さん、 村井理事、山村、吉椿)	
6/12 藍那小学校で「トルコ・シリア地震」講演(吉椿)	
6/14 RSY 機関誌「あるある」でトルコ・シリア地震の取材(山田光さん、吉椿)	
6/16 兵庫県生活協同組合連合会、江見さん来所(吉椿)	
6/18-26 トルコ第 3 次現地派遣(山村、吉椿)	
7/3 藍那小学校でトルコ・シリア地震の講演(吉椿)	

	<p>7/5 JICA 関西と国際協力入門の打ち合わせ(吉椿)</p> <p>7/7 国際協同組合デー兵庫県記念大会(兵庫県民会館)で CODE のトルコ・シリア地震支援のパネルを展示(吉椿) こうべ森の学校、大沼さん「トルコ・シリア地震」のヒアリング(山村、吉椿)</p> <p>7/9 日本防災士会で「トルコ・シリア地震」の講演(吉椿)</p> <p>7/10 関西国際大学の村田教授、トルコ・シリア地震ヒアリング(吉椿)</p> <p>7/11 トルコ・シリア地震第3次派遣報告会(村井理事、宮本副代表、藤本さん、 山村、吉椿)</p> <p>7/12 藤本さん来所(村井理事、島村さん、植田さん、山村、吉椿)</p> <p>7/19 コープこうべとトルコ若者学生交流企画の打ち合わせ(冬頭理事、藤本さん、 島村さん、山村、吉椿)</p> <p>7/20 ソロプチミスト日本財団年次贈呈式に出席(山村)</p> <p>7/26 震災・学校支援チーム(Earth)で「トルコ・シリア地震」の講演(吉椿)</p> <p>7/31 ワンネススクール(石川)で講演と「うちわプロジェクト」を実施(吉椿)</p> <p>8/3 筑波大学大学院生永田さん、トルコ地震支援のヒアリング(吉椿) とちぎコミュニティ基金で講演(吉椿)</p> <p>8/4 NHK「ぐるっと関西おひるまえ」に出演(島村さん、山村、吉椿)</p> <p>8/9 Family & Co.「夏休みわくわくワークショップ」にて「うちわプロジェクト」の実施 (樋上さん、山村)</p> <p>8/13 青少年活動サポートプラザにて「うちわプロジェクト」の実施(島村さん)</p> <p>8/15 JICA 関西と国際協力入門セミナーの打ち合わせ(吉椿)</p> <p>8/20 NPO 法人 a little の「8月の西宮ごはんとグッズライブ」にて「うちわプロジェクト」 の実施(山村、植田さん) 兵庫区子どもフェスタでブース出展、「うちわプロジェクト」の実施 (植田さん、黒瀬さん、山村)</p> <p>8/26 生活クラブ生活協同組合都市生活で「トルコ・シリア地震」の講演(近藤さん、吉椿)</p> <p>8/27 Comm café にて「うちわプロジェクト」の実施(島村さん、那須さん)</p> <p>8/29 NVNAD とトルコ・シリア地震支援の打ち合わせ(島村さん、吉椿)</p> <p>8/30 JICA 関西、国際協力入門セミナーのリハーサル(吉椿)</p> <p>8/31 アーユス仏教国際協力ネットワーク関西交流会で「トルコ・シリア地震」の講演 (吉椿)</p> <p>9/4 トルコ・シリア地震学生企画ミーティング (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>9/7 筑波大学院生永田さんとトルコ・シリア地震の打ち合わせ(吉椿) NGO,ACEV のハサンさんとミーティング(ハサンさん、岩城あすかさん、吉椿)</p> <p>9/14 JICA 関西、国際協力入門セミナーに登壇(吉椿)</p> <p>9/16 南丹市「防災シンポジウム」で「トルコ・シリア地震」の講演(吉椿)</p> <p>9/22 たつの市立御津小学校で講演とうちわ作成(山本健一さん、植田さん、島村さん、 山村、吉椿)</p> <p>9/23 トルコ・シリア地震学生企画ミーティング</p>
--	---

	<p>(島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>9/29 FM わいわい「トルコ風焼き出し食」にブース出展(植田さん、山村、吉椿)</p> <p>9/30 静岡県ボランティア協会「トルコ・シリア地震と CODE の支援」で講演 (植田さん、山村、吉椿)</p> <p>10/4 事務所内覧(村井理事、増島さん、山村、吉椿) トルコ・シリア地震学生企画ミーティング (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>10/10 コープこうべと報告会の打ち合わせ(山村) トルコ・シリア地震学生企画ミーティング (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>10/11 「國際現代」水墨画協会、向山さん「トルコ・シリア地震」ヒアリング(山村、吉椿)</p> <p>10/15 「國際現代」水墨画協会主催第 27 回「國際現代」芸術展授賞式に参加(島村さん)</p> <p>10/16 トルコ・シリア地震学生企画ミーティング (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>10/18 NHK 取材(吉椿)</p> <p>10/19-26 トルコ日本ユースボランティア交流でトルコへ渡航 (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>10/31 トルコ・イズデルネイと打ち合わせ(島村さん、植田さん、山村、吉椿)</p> <p>11/1 NHK 取材(吉椿)</p> <p>11/6 兵庫県立大学本庄さん、トルコのヒアリング(吉椿)</p> <p>11/12 トルコ・シリア地震学生企画報告会(コープこうべ)を開催 (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、藤本さん、吉椿)</p> <p>11/13 ネブシェヒル大学オンライン交流会で発表(島村さん、植田さん、近藤さん)</p> <p>11/14-22 トルコ・シリア地震第 4 次派遣(島村さん、荒井さん、藤本さん、山村、吉椿)</p> <p>12/5 トルコ・シリア地震第 4 次派遣報告会(宮本副代表、村井理事、冬頭理事、 島村さん、藤本さん、山村、吉椿)</p> <p>12/8 神戸大学国際人間科学部グローバルスタディーズプログラムで講義(吉椿)</p> <p>12/18 たつの市立御津小学校でトルコ・シリア地震の講演(山本健一さん、植田さん、 那須さん、山村、吉椿)</p> <p>12/19 NVNAD(西宮市立勤労会館)主催「トルコ・シリア地震報告会」で報告 (島村さん、植田さん、吉椿)</p> <p>12/20 関西学院大学ヒューマンサービス支援室主催「トルコ・シリア地震報告会」(上ヶ原 で報告(近藤さん、植田さん、吉椿)</p> <p>12/21 関西学院大学ヒューマンサービス支援室主催「トルコ・シリア地震報告会」(三田) で報告(植田さん、吉椿)</p> <p>1/19 コープこうべ総代研修会(姫路)でトルコ・シリア地震若者企画の報告(山村)</p> <p>1/22 コープこうべ総代研修会(池田)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (那須さん、山村)</p> <p>1/25 コープこうべ総代研修会(神戸)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (近藤さん、山村、吉椿)</p>
--	---

	1/29 コープこうべ総代研修会(西宮)でトルコ・シリア地震若者企画の報告(山村、吉椿) 2/8-15 トルコ・シリア地震第5次派遣(吉椿) 3/24 コープこうべ学びあいフェスタでトルコ・シリア地震の報告とブース出展(山村)
事業の目標と 終了予定時期	現地 NGO が仮設住宅での支援を2年間としている事から、終了時期を一応 2024年度末とする。

事業名	1-(5) 能登半島地震
実施日時	2024年1月1日～継続中
実施場所	石川県能登地方(七尾市中島町小牧、珠洲市、輪島市、穴水町など)
受益対象者の 範囲及び予定 人数	七尾市中島町小牧地区の被災住民約200人 珠洲市・輪島市の自主避難所や仮設住宅に居住する被災者約1000人
実施内容	<p>2024年1月1日16時10分に石川県珠洲市を震源としたM7.4の地震が発生し、能登半島の珠洲市、輪島市、能登町、七尾市などが甚大な被害を受けた。CODEは姉妹団体である被災地NGO協働センターと連携して、翌2日に七尾市中島町小牧の避難所「中島町コミュニティセンターに西岸分館」に食糧や燃料などの救援物資を提供した。その後も、同地区の集会所を拠点に被災地NGO協働センターのスタッフが常駐し、ボランティア受け入れ、足湯、家屋の片付け、物資配布、炊き出しなどの支援を展開している。また、兵庫県防災士会は食糧提供や足湯ボランティア隊の運転手、復興制度などの情報提供などで連携していただいている。そして村井理事は、昨年来の珠洲地震のつながりを活かし、取り残されている自主避難所を丁寧に訪問している。それに連動する形で山村を中心に「やさしや足湯隊」を結成し、大学生などのボランティアを中心に珠洲市、輪島市、穴水町などで足湯ボランティアやガレキの撤去などの活動を行ってきた。</p> <p>公助から取りこぼされている自主避難所の存在やボランティアの少なさなどもあり、中長期的な支援が今後も必要な事から、CODEとしても引き続き被災地NGO協働センターと連携して能登半島地震の支援を継続していく。</p> <p>【能登半島地震の概要と被害】</p> <p>日 時: 2024年(令和6年)1月1日(月)16時10分</p> <p>震 源: 石川県珠洲市 深さ: 16 km</p> <p>規 模: M7.6 最大震度 7</p> <p>被 害: (人的被害)死者 260名(災害関連死 30名) (住宅被害)81,712棟(全壊 8,071棟、半壊 16,577棟など)</p> <p>避 難: 1次避難所 1290人(79か所) 2次避難所 1,423人(135か所) *2024/6/4 時点</p> <p>仮設住宅: 建設予定戸数 6,423戸(完成 4,550戸) 141か所</p>

	<p>* 2023年度の主な動き</p> <p>2024/1/1 能登半島地震発生</p> <p>1/2-3 能登半島地震第1次派遣(村井理事、吉椿)</p> <p>1/5 NHK きん5時出演(吉椿)</p> <p>ほっともっと関西出演(吉椿)</p> <p>1/5 能登半島地震第2次派遣(増島さん、山村)</p> <p>1/6 能登半島地震街頭募金(神戸駅)(植田さん、島村さん、吉椿)</p> <p>1/10 能登半島地震街頭募金(兵庫駅)(島村さん、山村、吉椿)</p> <p>1/11 能登半島地震街頭募金(神戸駅)(島村さん、山村、吉椿) MBS撮影(街頭募金)</p> <p>1/14 まちづくり研究所主催「能登半島地震報告会」で報告(山村、吉椿) 能登半島地震報告会 in 東遊園地で報告(山村、吉椿)</p> <p>1/16 長田合同庁舎で「能登半島地震」報告会(山村、吉椿) 神戸学院大学社会防災特別講義Ⅱ第15回「能登半島地震」で講義(山村)</p> <p>1/17-21 能登半島地震第3次派遣(植田さん、島村さん、吉椿)</p> <p>1/29-2/2 能登半島地震第4次派遣(斎藤さん、島村さん)</p> <p>1/30 足湯ボランティア説明会(島村さん、頼政、村井、山村)</p> <p>1/31 多大学プラットフォーム「能登半島地震」報告会(吉椿) 足湯ボランティア先遣隊 講習会(村井、山村)</p> <p>2/4-2/7 足湯ボランティア先遣隊(山村、村井理事)</p> <p>2/16 足湯ボランティア先遣隊 報告会(山村、村井理事)</p> <p>2/19-22 第1次足湯ボランティア隊の同行(山村)</p> <p>2/20 中島町復興支援団体情報共有会議 (頼政さん、増島さん、渥美大阪大学教授、山村、吉椿)</p> <p>2/22-26 能登半島地震第5次派遣(吉椿)</p> <p>2/26-29 第2次足湯ボランティア隊の同行(山村)</p> <p>3/5-8 第3次足湯ボランティア隊に同行(山村、村井理事)</p> <p>3/7 第4次足湯ボランティア隊事前打ち合わせ(山村、島村さん)</p> <p>3/12 NGO-JICA 協議会で能登半島地震支援の報告(吉椿)</p> <p>3/13-16 第4次足湯ボランティア隊の同行(島村さん、山村)</p> <p>3/17-20 能登派遣(島村さん)</p> <p>3/19 足湯ボランティア報告&交流会(植田さん、山村、村井理事) 舞子高校生の募金受け取り(吉椿)</p> <p>3/20 能登半島地震報告会(兵庫県震災復興研究センター主催)に参加(吉椿)</p> <p>3/22-25 第5次足湯ボランティア隊に同行(植田さん、吉椿)</p> <p>3/22 中島町ネットワークミーティング(植田さん、島村さん、山村、吉椿)</p> <p>3/26 神戸新聞取材(山村、吉椿)</p> <p>3/27 第6次足湯ボランティア隊 事前打ち合わせ(島村さん、山村)</p> <p>3/28-31 第6次足湯ボランティア隊の同行(島村さん、山村、村井理事)</p>
--	--

事業の目標と 終了予定時期	復興のスピードが非常に遅い事もあり、一応の終了予定時期を2025年度末とする。
------------------	---

【2. 人材育成事業】

事業名	2-(1)事務局体制の充実化
実施日時	2011年4月～継続中
実施場所	CODE事務局
受益対象者の範囲及び予定人数	数名
実施内容	2023年度の事務局は、新規スタッフ山村太一（2023年3月神戸学院大学卒業）、島村優希さん（大阪大学4年生）、植田隆誠さん（関西学院大学4年生）に学生スタッフとして、トルコ・シリア地震やウクライナ避難民支援やニュースレターの発行や報告会・イベント開催などの事務局業務を担っていただいた。

事業名	2-(2) NGOことはじめ
実施日時	随時
実施場所	CODE事務所
受益対象者の範囲及び予定人数	当NGOスタッフはじめ、学生や一般など
実施内容	2023年度は、トルコ・シリア地震支援やウクライナ避難民支援で多忙だったため、本事業は実施に至らなかった。

事業名	2-(3)「○○と国際協力」
実施日時	毎月第3木曜日
実施場所	CODE事務所
受益対象者の範囲及び予定人数	一般
実施内容	2014年3月より「食と国際協力」を月1回、第3木曜日に開催してきた。食を通して、その国について学び、語る場を作る。災害が起きる前からその国の事を知り、身近に感じてもらうという主旨で、2019年度までの7年間で計59回を開催し、のべ801名にご参加いただいた。 2020年度からは「○○と国際協力」という形でリニューアルする事となり、以下の通り年1回のペースで実施した。2022年度は、「若者と国際協力～青年海外協力隊と農業

	<p>～」と題して若者を中心を開催した。詳細は以下の通り。</p> <p>第1回「映画と国際協力～台湾人のアイデンティティとは？～」</p> <p>日 時: 2020年8月20日 18:30～20:00 開 催: Zoomによるオンライン 語り手: 宮本匠さん(CODE副代表理事) 参加者: 14名</p> <p>第2回「農業と国際協力～アフガニスタンからの贈り物 9.11をきっかけに始まった農業支援～」で講演（村井理事）</p> <p>日 時: 2021年9月9日 18:30～20:30 開 催: Zoomによるオンライン 語り手: 村井雅清(CODE理事) 参加者: 23名</p> <p>◎2022年度</p> <p>第3回「○○と国際協力」 「若者と国際協力～青年海外協力隊と農業」</p> <p>日 時: 2022年11月14日(月) 19:00～21:00 開 催: 対面とオンライン 語り手: 杉田かなえさん(ジコモファーム代表) 森本莉永さん(豊岡市地域おこし協力隊、青年海外協力隊待機者) 参加者: 13名</p> <p>* 2023年は、開催にいたらなかった。</p>
--	--

事業名	2-(4) CODE 未来基金
実施日時	2014年12月10日～
実施場所	各被災地や事務所
受益対象者の範囲及び予定人数	災害NGOで働く若者、または将来的に災害NGOで働くことをめざす若者、若干名。
実施内容	<p>●これまでの経緯</p> <p>2015年にCODEが終了したプロジェクト残額の半分(約1000万円)を充当し、CODE未来基金を立ち上げ、次世代のNGOを担う若者たちを応援してきた。これまでに海外のフィールドワークでは、フィリピン、ネパール、中国の被災地に計12名を派遣した。インターンシップでは、これまでに2名が半年間CODEの業務に有給で従事した。²</p> <p>2022年度は、後期からインターン、アルバイトの学生スタッフ3名が、事務業務やウクライナ避難民支援(MOTTAINAIやさい便や子守りボランティアなど)を担っていただいたことで、学生ボランティアのCODEの活動への参加も増加した。</p>

	<p>2023年度からは、新卒の山村太一を新たなスタッフとして迎え、島村優希さん（大阪大学4年生）、植田隆誠さん（関西学院大学4年生）の学生スタッフを中心に学生ボランティアたちなど未来基金の若者たちとトルコ・シリア地震やウクライナ避難民、能登半島地震支援などの活動を行った。</p> <p>ウクライナ・ロシア支援では学生を中心とした「子守ボランティア」を継続して行っており、母子のサポートかつボランティアを通じて平和や戦争について考える機会を提供している。トルコ・シリア地震ではトルコと日本の若者同士のオンライン交流、また5名の学生・若者自身でトルコでのフィールドワークを企画した。現地では防災ダックや防災クロスロード、日本から被災地へのメッセージ・イラストを描いた「うちわ」を通じた交流、またユースボランティア交流も行った。現地への派遣を通じて「関心を持ち続けること」や「つながり」の大切さなどの学びを得た。</p> <p>2024年1月の能登半島地震支援ではスタッフの山村を中心に定期的に能登へと学生・若者ボランティアを派遣する「やさしや足湯隊」を形成し、2月より活動を継続している。「やさしや足湯隊」をきっかけにボランティアに初めて関わる学生も増えた。</p> <p>●「CODE 未来基金」の概要</p> <ul style="list-style-type: none">・主旨: NGO を志す若者に財政的な助成をする事で、若者に学ぶ場、働く場、生き方の選択肢などを提示する。・助成内容: 以下の3部門<ol style="list-style-type: none">1. インターンシップ…将来、CODE など災害 NGO で働きたい若者が CODE で有給インターンとして経験を積む機会を提供する。2. フィールド研修…CODE の支援している被災地でのフィールド研修を若者自身が企画、実施する。3. NGO セミナー…様々な分野の講師を招いて行うセミナーを若者自身が企画、実施する。・基金の財源: CODE の過去のプロジェクト費の一部と寄付金を活用する。 CODE が次世代の災害 NGO を担う若者と育ち合っていく事を広く社会に呼びかけ、サポーターを募る。・寄付について: *一般寄付 個人一口 10,000円、NGO/団体一口 30,000円、企業一口 50,000円 *未来基金サポーター 年会費: 1,000円・運営・選考: CODE 事務局が運営を担う。申請案件に関しては、CODE の4名の理事および外部選考委員 2名によって審査を行う。理事の交替などにより選考委員の構成が 2022年12月度の理事会で議論され、以下の構成に再編された。 選考委員: 芹田名誉理事、榛木理事、西海理事、宮本理事、堀之内理事の5人と、外部委員は河崎紀子さん(兵庫県ユニセフ協会事務局長)、中山迅一さん(NPO 法人まなびと代表)から構成される。
--	--

●これまでの実績

*フィールドワーク事業

・第1号事業:神戸大学生(アイセック神戸大学委員会)による「フィリピンでのフィールド研修」が、2016年3月30日の選考委員会を経て採択された。事業は以下の通り実施された。

日 時:2016年8月10日～18日(9日間)

場 所:フィリピン・セブ島、バンタヤン島

企画者:宮津隆太(神戸大学2回生)

参加者:神戸大学生5名

(宮津隆太、河村陽菜、佐久間峻平、西本楓、羽田和真)

同行者:上野智彦(CODEスタッフ)

テーマ:「Sign～学生に国際支援の新たな兆しを～」

内 容:被災漁村で生活を共にする中で貧困、教育、生計などの課題を考える。

また、現地NGOへのヒアリングによってフィリピンの漁村の抱える問題を知る。

・第2号事業:兵庫県立大学の学生の企画によってCODEの支援するネパールグデル村でフィールド研修が行われた。2016年9月12日の選考委員会の協議によって採択された。詳細は以下の通り。

日 時:2017年2月22日～3月5日(12日間)

場 所:ネパール・ソルクンブ郡グデル村

企画者:立浪雅美(兵庫県立大学4回生)

参加者:兵庫県立大学、神戸学院大学、愛媛大学の3名

(立浪雅美、今中麻里愛、高橋大希)

同行者:吉椿雅道(CODE事務局長)

テーマ:「Discovery!～未来への可能性を広げよう～」

内 容:辺境のグデル村へ徒歩で向かい、現地の方の声に耳を傾け、暮らしを体験させてもらう。その中から見えてくる生活環境、医療、教育、文化などの課題を共に考える。

・第3号事業:神戸大学の学生の企画によってCODEの支援する中国四川省の光明村でフィールド研修が行われた。2017年10月3日の選考委員会の協議によって採択された。詳細は以下の通り。

日 時:2018年3月22日～3月30日(8日間)

場 所:中国四川省の被災地(光明村など)

企画者:西本楓(神戸大学2回生)

参加者:神戸大学4名

(西本楓、田口春香、石川睦巳、久保陽香)

同行者:吉椿雅道(CODE事務局長)

	<p>テーマ:「食による村おこし」 内 容:医食同源の故郷である中国で食や食文化を学び、それを活用して被災地での地域おこしを考える。</p> <p>* インターンシップ事業 2016年度のネパールフィールド研修に参加した高橋大希さん(愛媛大学2年生)が未来基金インターンシップ第1号として申請し、2017年8月18日の選考委員会の協議を経て採択された。</p> <p>・第1号 名前:高橋大希さん 所属:愛媛大学教育学部2年生 期間:2017年10月3日～2018年4月1日 業務:SNSを活用した広報や若者のネットワーク作り、イベントの運営 未来基金ニュース「だいき日記」の発信、第4回日中NGOボランティア研修交流事業に参加など。</p> <p>・第2号 名前:立部知保里さん 所属:兵庫県立大学大学院減災・復興政策研究科博士課程 期間:2019年4月1日～9月30日(その後もアルバイトとして雇用) 業務:CODEレターの発行、会員管理、イベント運営、フィリピン・コロナ事業など</p> <p>* セミナー事業 未来基金の若者たちが主体となって、以下のようなセミナーを開催してきた。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 阪神・淡路大震災25年特別企画 「若者の生き方を語る～阪神・淡路大震災25年を前に～」 * 第1回 「お金に依存しない自立した生活をめざして」 スピーカー:久保陽香さん(「非電化工房」住み込み弟子) 日時:2019年10月27日 場所:神戸まちづくり会館 参加者:36名 * 第2回 「学生のやりたいを見つける」 スピーカー:羽田和真さん(NPO法人The Peace Front) 日時:2019年11月22日 場所:神戸まちづくり会館 参加者:22名 * 第3回 「コミュニティナースが取り組む地域支援」 スピーカー:立浪雅美さん(「園田南」地域包括支援センター) 日時:2019年12月22日 場所:神戸まちづくり会館
--	--

	<p>参加者:49名</p> <p>* 第4回 「昆虫食で世界の食システムに挑戦する」</p> <p>スピーカー:西本楓さん(株式会社「BugMo」COO)</p> <p>日時:2020年1月19日</p> <p>場所:神戸まちづくり会館</p> <p>参加者:43名</p> <p>* 第5回 「若者の生き方について考える」</p> <p>スピーカー:金益見さん(神戸学院大学講師)</p> <p>日時:2020年2月9日</p> <p>場所:神戸まちづくり会館</p> <p>参加者:58名</p> <p>◎CODE20周年記念事業</p> <p>CODEが、法人として再スタートをして20年を迎えた2022年度3月に記念事業として、以下を開催した。CODEが20年培ってきた経験と知恵に触れた若者たちが次の20年に向けて何を伝えるのかを6回のプレゼンテーションを経て議論してきた。詳細は以下の通り。</p> <p>* CODE20周年記念事業</p> <p>「20年先にあなたは何を伝えますか～若者と共に考える」</p> <p>日時:2023年3月19日(日) 14:00～16:30</p> <p>開催:対面(こうべまちづくり会館)とオンライン</p> <p>参加者:32名(うち若者10名)</p> <p>* プレゼンテーション</p> <p>第1回 テーマ「足元を見直す」</p> <p>日時:2022年11月25日(金) 10:00～11:00</p> <p>参加者:7人</p> <p>第2回 テーマ「人々との接点」</p> <p>日時:2022年12月12日(月) 12:00～13:00</p> <p>参加者:9人</p> <p>第3回 テーマ「タテ、ヨコ、ナナメの世代を超えたつながり」</p> <p>日時:2023年1月6日(金) 10:00～12:00</p> <p>参加者:6人</p> <p>第4回 テーマ「希望」</p> <p>日時:2023年1月25日(水) 10:00～12:00</p> <p>参加者:7人</p> <p>第5回 テーマ「20年先に何を伝えるのか」</p> <p>日時:2023年2月15日(水) 16:00～18:00</p> <p>参加者:6人</p> <p>第6回 テーマ「本番のセッションに向けて」</p>
--	--

	<p>日 時:2023年3月7日(火) 16:00～18:00 参加者:9人</p> <p>●2023年度の活動報告</p> <p>山村太一さん（神戸学院大学4年生）、島村優希さん（大阪大学3年生）、植田隆誠さん（関西学院大学3年生）の3名がアルバイト、インターンとして事務局業務及び、CODE未来基金の活動全般も担ってもらった。「トルコ・日本ユースボランティア交流」やウクライナの子守ボランティアと能登半島地震をきっかけに多くの学生ボランティアの参加もあり、非常に活気づいた。</p> <p>(1) ウクライナ避難民支援</p> <p>「MOTTAINAI やさい便」の活動では野菜を届ける際に学生に同行してもらうことで、ウクライナの方々と学生が直接関わることができる機会を設けた。2022年の11月からのウクライナ人女性の生きがい創りとして2023年6月まで、元CODE理事の村上忠孝さんにご協力いただき、毎週1回西区での農業体験に学生たちも同行し、共に農業を学んだ。</p> <p>2022年12月から始まったウクライナの母子家庭で子育てや日本語学習などで自由な時間が取れない母親のために「子守りボランティア」も学生企画の元で継続している。2023年8月に活動を休止していたが、新たに依頼を受けたご家庭やウクライナから再度避難されたご家庭も増えたことにより、2024年2月より再開した。</p> <p>東灘区1世帯、中央区2世帯、芦屋区1世帯で週4回ほどの活動を行っている。2023年度は19名の高校生・大学生が参加し、のべ73名のボランティアが4家族の子守りを約54回行ってきた。</p> <p>(2) CODE寺子屋</p> <p>2023年度の講演会は安田菜津紀さん（認定NPO法人Dialogue for People副代表）を講師としてお呼びし、近畿労働金庫、関西NGO協議会の共催の元でCODE寺子屋セミナー2023「災害・紛争…混とんとした時代に私たちはどんな未来を選ぶのか～阪神・淡路大震災30年を前に～」を開催した。前半セッションはフォトジャーナリストの安田さんが写真を通じた講演、後半セッションは前半をふまえて吉椿が司会進行の元、安田さん、森下さん（近畿労働金庫地域共生推進室 次期専任役）、栗田さん（関西NGO協議会事務局長）でトークセッションを行った。</p> <p>(3) トルコ・シリア地震支援</p> <p>2023年2月6日にトルコ南部で発生した地震の支援として、2023年度は2022年度に引き続き、第三次派遣（6月18日～26日）、トルコ・日本ユースボランティア交流（10月19日～26日）、第四次派遣（11月14日～22日*日本ボランティアネットワーク（NVNAD）のサポート）において各派遣で若者スタッフや学生スタッフが同行することにより、学生地震海外の災害現場で学ぶ機会を得た（事業1-(4)トルコ・シリア地震支援参照）。特にトルコ・日本ユースボランティア交流会では、学生達自身で活動内容の考案や調整、ハート基金に申請し、事前のオンライン交流会やメッセージうちわ作成のイベントを行った。現地</p>
--	--

	<p>の活動では学生が主体となって防災ダック、現地視察、ボランティア交流会を開催した。活動を通して、若者自身が企画をし、実際に現地を訪れることで、顔の見えるつながりを通じたトルコと日本の学び合いへとつながった。</p> <p>・能登半島地震支援</p> <p>2024年1月1日に発災した能登半島地震の支援として、CODEは被災地NGO協動センターと兵庫県防災士会と連携して「やさしや足湯隊」を結成した。「やさしや足湯隊」の名前の由来は、「能登はやさしや土までも」という言葉から名付けた。これは、人はもとより土までもやさしいという農の風土を表していると同時に、能登の人は素朴で温かいという意味を表している。2023年度は、先遣隊から第6次足湯隊と合計7回の派遣を行い、のべ43人が活動した。足湯ボランティアは、阪神・淡路大震災の際にKOBEで始まり、全国に広まった活動である。お湯に足をつけ、被災者の方の手に触れ、さすることにより様々ななつぶやきを聞き疲れやストレスを少しでも解消してもらう代を超えて活動でき、「経験はないが何かボランティアをしたい」と思っている学生・若者との想いを共有し、共に活動した。</p> <p>* 2023年度の主な動き * 1-(3)にも再掲</p> <p>4月 ウクライナ子守ボランティア 8回ボランティア延べ11名 (山村、島村、樋上さん、那須さん、間野さん、植田さん、有田さん)</p> <p>5月 ウクライナ子守ボランティア 6回ボランティア延べ8名 (高島さん、施さん、樋上さん、間野さん)</p> <p>6月 ウクライナ子守ボランティア 6回ボランティア延べ8名 (リュウコウケンさん、島村、樋上さん、施さん、高島さん、有田さん)</p> <p>7月 ウクライナ子守ボランティア 6回ボランティア延べ9名 (樋上さん、島村、植田さん、那須さん、樋上さん、リュウコウケンさん、植田さん)</p> <p>2月 ウクライナ子守ボランティア 6回ボランティア延べ6名(近藤さん、那須さん)</p> <p>3月 ウクライナ子守ボランティア 4回ボランティア延べ6名 (近藤さん、小向さん、施さん、高島さん)</p> <p>・トルコ・シリア地震支援 * 1-(4)にも再掲</p> <p>4/15 トルコ・シリア地震支援第2次派遣報告会を開催(島村さん、吉椿)</p> <p>トルコ・日本ユースボランティア交流会を開催 (島村さん、植田さん、山村さん、村井理事、吉椿)</p> <p>4/22 北陸学院大学で「トルコ・シリア地震」支援 報告会 (植田さん、島村さん、吉椿)</p> <p>4/23 ワンネススクールで「トルコ・シリア地震」支援 報告会 (植田さん、島村さん、吉椿)</p> <p>5/8 コープこうべ冬頭さん、藤原さん、寺尾さんとトルコ・シリア地震支援についての打ち合わせ(村井理事、山村、吉椿)</p>
--	--

	<p>5/12-13 レスキュー・ストックヤード「トルコ・シリア地震」支援報告会で報告 (植田さん、吉椿)</p> <p>6/9 「トルコ・シリア地震」学生勉強会を開催(島村さん、植田さん、山村、吉椿)</p> <p>6/11 第2回トルコ日本ユースボランティア 交流会を開催 (島村さん、植田さん、村井理事、山村、吉椿)</p> <p>7/7 こうべ森の学校、大沼さん「トルコ・シリア地震」のヒアリング(山村、吉椿)</p> <p>7/11 トルコ・シリア地震第3次派遣報告会 (村井理事、宮本副代表、藤本さん、山村、吉椿)</p> <p>7/19 コープこうべとトルコ若者学生交流企画の打ち合わせ (冬頭理事、藤本さん、島村さん、山村、吉椿)</p> <p>7/20 ソロプチミスト日本財団年次贈呈式に出席(山村)</p> <p>8/4 NHK「ぐるっと関西おひるまえ」に出演(島村さん、山村、吉椿)</p> <p>8/9 Family C o 「夏休みわくわくワークショップ」にて「うちわプロジェクト」の実施 (樋上さん、山村)</p> <p>8/13 青少年活動サポートプラザにて「うちわプロジェクト」の実施(島村さん)</p> <p>8/20 NPO法人 a little の「8月の西宮ごはんとグッズライブ」にて 「うちわプロジェクト」の実施(山村、植田さん) 兵庫区子どもフェスタでブース出展、「うちわプロジェクト」の実施 (植田さん、黒瀬さん、山村)</p> <p>8/27 Comm café にて「うちわプロジェクト」の実施(島村さん、那須さん)</p> <p>8/29 NVNAD とトルコ・シリア地震支援の打ち合わせ(島村さん、吉椿)</p> <p>9/4 トルコ・シリア地震学生企画ミーティング (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>9/22 たつの市立御津小学校で講演とうちわ作成 (山本健一さん、植田さん、島村さん、山村、吉椿)</p> <p>9/23 トルコ・シリア地震学生企画ミーティング (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>9/29 FM わいわい「トルコ風焼き出し食」にブース出展(植田さん、山村、吉椿)</p> <p>9/30 静岡県ボランティア協会「トルコ・シリア地震と CODE の支援」で講演 (植田さん、山村、吉椿)</p> <p>10/4 トルコ・シリア地震学生企画ミーティング (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>10/10 コープこうべと報告会の打ち合わせ(山村) トルコ・シリア地震学生企画ミーティング (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>10/11 「国際現代」水墨画協会、向山さん「トルコ・シリア地震」ヒアリング(山村、吉椿)</p> <p>10/15 「国際現代」水墨画協会主催第27回「国際現代」芸術展授賞式に参加 (島村さん)</p> <p>10/16 トルコ・シリア地震学生企画ミーティング (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p>
--	--

	<p>10/19-26 トルコ日本ユースボランティア交流 でトルコへ渡航 (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>10/31 トルコ・イズデルネイと打ち合わせ(島村さん、植田さん、山村、吉椿)</p> <p>11/12 トルコ・シリア地震学生企画報告会(copeこうべ)を開催 (島村さん、植田さん、近藤さん、那須さん、山村、藤本さん、吉椿)</p> <p>11/13 ネブシェヒル大学オンライン交流会で発表(島村さん、植田さん、近藤さん)</p> <p>11/14-22 トルコ・シリア地震第4次派遣 (島村さん、荒井さん、藤本さん、山村、吉椿)</p> <p>12/5 トルコ・シリア地震第4次派遣報告会 (宮本副代表、村井理事、冬頭理事、島村さん、藤本さん、山村、吉椿)</p> <p>12/18 たつの市立御津小学校でトルコ・シリア地震の講演 (山本健一さん、植田さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>12/19 NVNAD (西宮市立勤労会館)主催「トルコ・シリア地震報告会」で報告 (島村さん、植田さん、吉椿)</p> <p>12/20 関西学院大学ヒューマンサービス支援室主催「トルコ・シリア地震報告会」 (上ヶ原で報告(近藤さん、植田さん、吉椿)</p> <p>12/21 関西学院大学ヒューマンサービス支援室主催「トルコ・シリア地震報告会」 (三田)で報告(植田さん、吉椿)</p> <p>1/19 コープこうべ総代研修会(姫路)でトルコ・シリア地震若者企画の報告(山村)</p> <p>1/22 コープこうべ総代研修会(池田)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (那須さん、山村)</p> <p>1/25 コープこうべ総代研修会(神戸)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (近藤さん、山村、吉椿)</p> <p>1/29 コープこうべ総代研修会(西宮)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (山村、吉椿)</p> <p>・令和6年(2024年)能登半島地震支援</p> <p>1/1 能登半島地震発生</p> <p>1/6 能登半島地震街頭募金(神戸駅)(植田さん、島村さん、吉椿)</p> <p>1/10 能登半島地震街頭募金(兵庫駅)(島村さん、山村、吉椿)</p> <p>1/11 能登半島地震街頭募金(神戸駅)(島村さん、山村、吉椿)</p> <p>1/30 足湯ボランティア説明会(島村さん、頼政さん、村井理事、山村)</p> <p>1/31 足湯ボランティア先遣隊 講習会(村井理事、山村)</p> <p>2/4-2/7 足湯ボランティア先遣隊(村井理事、山村)</p> <p>2/16 足湯ボランティア先遣隊 報告会(村井理事、山村)</p> <p>2/19-22 第1次足湯ボランティア隊の同行(山村)</p> <p>2/26-29 第2次足湯ボランティア隊の同行(山村)</p> <p>3/5-8 第3次足湯ボランティア隊に同行(村井理事、山村)</p> <p>3/7 第4次足湯ボランティア隊事前打ち合わせ(山村、島村さん)</p> <p>3/13-16 第4次足湯ボランティア隊の同行(島村さん、山村)</p>
--	--

	3/19 足湯ボランティア報告＆交流会(植田さん、村井理事、山村) 3/22-25 第5次足湯ボランティア隊に同行(植田さん、吉椿) 3/27 第6次足湯ボランティア隊 事前打ち合わせ(島村さん、山村) 3/28-31 第6次足湯ボランティア隊の同行(島村さん、村井理事、山村、)
--	---

【3. 災害関連情報の収集及び発信事業】

事業名	3-(1)災害情報サイト(CODE World Voice)の運営
実施日時	随時(2002年からの継続事業)
実施場所	SOHO形式や当センターなど
受益対象者の範囲及び予定人数	不特定多数の災害情報を得ている人たちすべて
実施内容	「被災地の市民の暮らしを知ることを通じて、防災や平和への意識向上を図る」ことが目的である。これまで CODE のプロジェクトをよりよく知ってもらうため、また、災害時の情報収集のために、随時 Reliefweb(UNOCHA が運営する、支援機関のレポート投稿サイト)やその他メディアからの翻訳を CODE ウェブサイトなどで発信してきた。 2022年度は、大学生インターンたちが、HPの英語への翻訳をしてくれた。

【4. ネットワーク構築事業】

事業名	4-(1)《関係機関からの受託事業》 神戸学院大学(社会防災特別講義Ⅱ)
実施日時	9月から1月まで、毎週火曜日第3限
実施場所	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス
受益対象者の範囲及び予定人数	現代社会学部の学生 95名
実施内容	① 「現代社会学部」の後期授業および講師派遣 村井理事が2007年から担っていた本講義を2020年度から吉椿が担っており、2022年度も以下の内容と講師陣とオムニバスで全15コマ実施した。講師は、他に斎藤容子さん、頼政良太さんにも担っていただいている。2022年度の受講生は95名。 《日程と内容》 9/19(火) 第1回 ガイダンス(吉椿) 9/26(火) 第2回 CODE 海外災害援助市民センターについて(吉椿) 10/3(火) 第3回 異文化理解と援助(吉椿) 10/10(火) 第4回 日本の災害復興支援活動(頼政さん) 10/17(火) 第5回 寄り添いつながり(吉椿) 10/24(火) 第6回 海外の復興制度(斎藤さん)

	<p>10/31(火) 第7回 災害フィールドワーク(吉椿)</p> <p>11/7(火) 第8回 災害とSDGs(吉椿)</p> <p>11/14(火) 第9回 災害とジェンダー(斎藤さん)</p> <p>11/21(火) 第10回 平時の地域防災(頬政さん)</p> <p>11/28(火) 第11回 災害と貧困(吉椿)</p> <p>12/5(火) 第12回 援助の届きがたい被災地支援の方策(吉椿)</p> <p>12/12(火) 第13回 海外のコミュニティ防災(斎藤さん)</p> <p>12/19(火) 第14回 国際協力と若者(山村、吉椿)</p> <p>1/16(火) 第15回 能登半島地震の状況について(山村)</p> <p>その他、社会貢献学入門の講義(2回)の講義では、神戸学院大学、工学院大学、東北福祉大学の3大学連携で履修者245名に講義した。</p> <p>7/1(土) 第14回 NGOによる国際協力/CODEの行う社会貢献(吉椿)</p> <p>7/8(土) 第15回 NGOによる国際協力/海外での復興支援活動(吉椿)</p>
--	--

事業名	4-(2)《関係機関からの受託事業》親和大学(国際ボランティア論) *2023年度から親和女子大学が共学になり、親和大学に名称変更
実施日時	4月から7月まで、毎週月曜日第2限
実施場所	親和大学キャンパス、その他オンライン授業
受益対象者の範囲及び予定人数	文学部国際文化学科、発達教育学部児童教育学科・心理学科、教育学部スポーツ教育学科の111名。中国、ネパール、ベトナム、バングラデシュ、スリランカなどの留学生も多数在籍
実施内容	<p>2020年度前期(月曜2限、全15回)より「国際ボランティア論」の講義((担当教員:梶山)を行うことになった。講師は、坂西卓郎さん(PHD協会)(5)、斎藤容子さん(関西学院大学)(4)、吉椿(CODE)(5)の三者で実施した。</p> <p>《内容》</p> <p>4/10(月) 第1回 ガイダンス・授業の進め方(梁さん)</p> <p>4/17(月) 第2回 国際協力概論(坂西さん)</p> <p>4/24(月) 第3回 ボランティアとは?(吉椿)</p> <p>5/1(月) 第4回 開発教育と参加型学習(坂西さん)</p> <p>5/8(月) 第5回 世界と国内の難民(坂西さん)</p> <p>5/15(月) 第6回 国際協力と多文化共生(坂西さん)</p> <p>5/22(月) 第7回 当事者から学ぶ(坂西さん)</p> <p>5/29(月) 第8回 防災と国際協力(斎藤さん)</p> <p>6/5(月) 第9回 緊急支援、復興支援(斎藤さん)</p> <p>6/12(月) 第10回 ジェンダー視点から見る途上国災害(斎藤さん)</p> <p>6/19(月) 第11回 ボランティアから専門家へ(斎藤さん)</p> <p>6/26(月) 第12回 NGOとは?(吉椿)</p>

	7/3(月) 第13回 国際協力と若者(吉椿) 7/10(月) 第14回 SDGsと災害(吉椿) 7/24(月) 第15回 異文化理解と援助(吉椿)
--	--

事業名	4-(4)《関係機関からの受託事業》神戸学院大学(ボランティア論Ⅱ)
実施日時	4月から7月まで、毎週火曜日第1限
実施場所	神戸学院大学ポーアイキャンパス、その他オンライン授業
受益対象者の範囲及び予定人数	現代社会学部の学生16名
実施内容	<p>2020年度よりCODEが受託した講義で、前期(火曜1限、全15回)の「ボランティア論Ⅱ」の講義を吉椿が行った。ゲストスピーカーとして、斎藤容子さん、頬政良太さんにも講義を担っていただいた。</p> <p>《内容》</p> <p>4/11(火) 第1回 ガイダンス(吉椿) 4/18(火) 第2回 災害ボランティアについて(吉椿) 4/25(火) 第3回 災害ボランティアセンターについて(吉椿) 5/2(火) 第4回 避難所運営とボランティア(斎藤さん) 5/9(火) 第5回 避難所ワーク「HUG」(斎藤さん) 5/16(火) 第6回 復興支援とボランティア(吉椿) 5/23(火) 第7回 足湯ボランティアとは(吉椿) 5/30(火) 第8回 若者がボランティアをする意義(島村さん、植田さん、山村) 6/6(火) 第9回 ボランティアとフィールドワーク(吉椿) 6/13(火) 第10回 海外のボランティア①フィリピン(吉椿) 6/20(火) 第11回 海外のボランティア②イタリア(斎藤さん) 6/27(火) 第12回 海外のボランティア③中国(吉椿) 7/4(火) 第13回 ボランティアと若者・働き方(吉椿) 7/11(火) 第14回 災害とジェンダー(斎藤さん) 7/18(金) 第15回 NGOとボランティア(吉椿)</p>

事業名	4-(5)《関係機関からの受託事業》関西NGO協議会
実施日時	随時
実施場所	未定
受益対象者の範囲及び予定人数	未定
実施内容	例年通り、以下の事業などに講師派遣をした。

	<p>①講師派遣</p> <p>2024/1/10 龍谷大学国際 NGO 論「最後の一人まで～災害支援の現場から考える市民社会」で講義(吉椿)</p> <p>2024/3/12 NGO-JICA 協議会での島半島地震支援の報告(吉椿)</p>
--	---

事業名	4-(6) 国内のネットワーク構築事業
実施日時	随時
実施場所	各地
受益対象者の範囲及び予定人数	未定
	<p>① 関西 NGO 協議会(KNC)の活動への参加</p> <p>CODE は団体理事として、吉椿が 2017 年度から理事会に出席している。なお、吉椿は、2019 年度から常任理事、2020 年度からは NGO-JICA 協議会コーディネーターを担ったが、2021 年度でコーディネーターを辞任し、自団体業務に選任することとした。また、2018 年から KANSAI-SDGs 市民アジェンダ分科会の座長としても、SDGs を通じて関西の多分野の NGO との関係を深めてきた。また、JICA 関西と KNC で関西 NGO-JICA 協議会を吉椿が担当し、関西の NGO にかかわるユースと JICA のユースの交流促進に努めた。</p> <p>* 総会・理事会への出席</p> <p>5/14 2023 年度総会に出席(吉椿、山村、植田さん、島村さん)</p> <p>5/14 第 1 回理事会に出席(吉椿)</p> <p>7/25 第 2 回理事会に出席(吉椿)</p> <p>10/26 第 3 回理事会に出席(吉椿)</p> <p>2/5 第 4 回理事会に出席(吉椿)</p> <p>3/26 第 5 回理事会に出席(吉椿)</p> <p>* NGO-JICA 協議会</p> <p>2020 年度より吉椿が KNC としてコーディネーターを担っていきたが、自団体の業務に専念するために 2021 年度末で辞任した。2023 年度の業務は以下の通り</p> <p>3/12 NGO-JICA 協議会で能登半島地震支援の報告(吉椿)</p> <p>* 関西 NGO-JICA 協議会</p> <p>2022 年度からは、栗田 KNC 事務局長と共に JICA 関西と関西 NGO-JICA 協議会の業務を担っている。2023 年度は会の実施にいたらなかった。</p> <p>4/19 JICA 関西と「関西 SDGs プラットフォーム ユース分科会」の協議(吉椿)</p> <p>1/30 関西 NGO-JICA 協議会打ち合わせ(吉椿)</p> <p>3/5 関西 NGO-JICA 協議会打ち合わせ(吉椿)</p>

	<p>* KANSAI-SDGs市民アジェンダ 2018年から関西地域のNGOたちとSDGs推進のために市民社会に声を聴く分科会を開催してきた。吉椿は、国際分科会の座長を務めている。 7/20 KANSAI-SDGs市民アジェンダ運営委員会に出席(吉椿)</p> <p>* その他 12/1 外務省定期協議会に出席(吉椿) 12/17 ワンワールドフェスティバル for Youth でブース出展(近藤さん、島村さん、山村、吉椿) 12/14 NGO・外務省定期協議会 ODA政策協議会に出席(吉椿) 12/20 「ボランティア体験報告と募集説明会」に登壇 (島村さん、那須さん、植田さん、山村) 1/13 CODE 寺子屋 2023「災害・紛争、混とんとした時代に私たちはどんな未来を選ぶのか～阪神・淡路大震災30年を目前に～」(講師:安田菜津紀さん)を開催 3/28 ODA政策協議会(JICA関西)に出席(吉椿)</p>
	<p>② コープこうべとの連携 例年通り、コープこうべが実施している地区の勉強会や報告会への講師派遣を継続した。2023年度は、トルコ・シリア地震支援で寄附金や学生企画への拠出などで大きな協力をいただいた。</p> <p>* 2023年度の主な動き 4/24 兵庫県生協連合会「国際協同組合デー兵庫大会」の打ち合わせ(吉椿) 5/8 トルコ・シリア地震支援についての打ち合わせ(冬頭理事、村井理事、 山村、吉椿) 6/14 コープこうべ総代会に出席(吉椿) 6/16 兵庫県生活協同組合連合会、江見さん来所(吉椿) 7/7 国際協同組合デー兵庫県記念大会(兵庫県民会館)で CODEのトルコ・シリア地震支援のパネルを展示(吉椿) 7/19 コープこうべとトルコ若者学生交流企画の打ち合わせ(冬頭理事、藤本さん、 島村さん、山村、吉椿) 8/3 コープこうべ「地域でつながるフォーラム」の打ち合わせ(吉椿) 9/8 コープこうべ「地域でつながるフォーラム」でブース出展(山村) 9/14 フードドライブ譲渡会＆交流会に参加(山村) 9/27 コープこうべ 2023年度第2回平和企画の会で講演(吉椿) 10/10 コープこうべと学生企画報告会の打ち合わせ(山村) 10/11 コープこうべ総代交流会に出席(吉椿) 12/1 コープこうべ・関西学院大学人間福祉学部社会起業論C</p>

	<p>「生協と NGO の連携」で講義(村井理事)</p> <p>1/19 コープこうべ総代研修会(姫路)でトルコ・シリア地震若者企画の報告(山村)</p> <p>1/22 コープこうべ総代研修会(池田)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (那須さん、山村)</p> <p>1/25 コープこうべ総代研修会(神戸)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (近藤さん、山村、吉椿)</p> <p>1/29 コープこうべ総代研修会(西宮)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (山村、吉椿)</p> <p>3/24 コープこうべ学びあいフェスタでトルコ・シリア地震の報告とブース出展(山村)</p> <p>③ 近畿ろうきんとの連携</p> <p>2018年度より近畿ろうきんの社会貢献預金「笑顔プラス」(預金の金利の一部を社会貢献に使うしくみ)の寄付先団体として選出され、約20万円の寄付をいただいている。2019年度、CODEは近畿ろうきんに預金口座を開設した。</p> <p>2022年度の笑顔プラスの寄付は214,604円となった。</p> <p>また、2019年からは、毎年、近畿ろうきんから協賛をいただき、以下のセミナーを開催してきた。</p> <p>2019年度「若者生き方を語る～阪神・淡路大震災から25年を前に～」</p> <p>2020年度「コロナとこれからの市民社会に向けて～SDGs・若者・災害/気候変動」</p> <p>2021年度「若者と難民について考える」</p> <p>2022年度「若者と難民について考える第2弾」を2回シリーズで開催した。</p> <p>2023年度は以下の通り</p> <p>◎CODE 寺子屋セミナー2023 *5-(1)にも再掲 「災害・紛争、混とんとした時代に私たちはどんな未来を選ぶのか ～阪神・淡路大震災30年を前に～」</p> <p>日 時: 2024年1月13日(土)13:30-15:30</p> <p>場 所: 近畿ろうきん肥後橋ビル 12F メインホール</p> <p>講 師: 安田菜津紀さん(認定NPO法人 Dialogue for People 副代表)</p> <p>ディスカッショナ: 栗田佳典(関西NGO協議会事務局長) 森下晃司(近畿ろうきん地域共生推進室) 吉椿雅道(CODE 海外災害援助市民センター事務局長)</p> <p>参加者: 65名</p> <p>* 2023年度の主な動き</p> <p>5/25 近畿ろうきん相生支店で講演(吉椿)</p> <p>6/7 近畿ろうきん笑顔プラス贈呈式に出席(吉椿)</p> <p>8/15 近畿ろうきんと寺子屋の打ち合わせ(吉椿)</p> <p>10/18 近畿ろうきんと寺子屋セミナーの打ち合わせ(吉椿)</p>
--	--

	<p>11/22 近畿ろうきんラジオカフェ「Kyoto Happy NPO」に出演(吉椿)</p> <p>1/11 近畿ろうきん「寺子屋セミナー」の打ち合わせ(吉椿)</p> <p>1/13 CODE 寺子屋 2023「災害・紛争、混とんとした時代に私たちはどんな未来を選ぶのか～阪神・淡路大震災30年を目前に～」(講師:安田菜津紀さん)を開催</p> <p>④ 若者の団体、教育機関とのネットワーク</p> <p>2017年度から未来基金事業を中心に若者のネットワークとのつながりを作ってきた。「アイセック神戸大学委員会」や「ワカモノデカラプロジェクト」、「神戸大学 PEPUP」、「まなびと」や「神戸大学救援隊」、「関西学院大学ニューマンサービスセンター」、「大学コンソーシアムひょうご神戸」などとの関係を深めてきた。「アイセック神戸大学委員会」とは、海外インターン送り出し事業局の面談委員を吉椿が担ってきたことや未来基金四川フィールド研修ではアイセックのメンバーが中国四川省で企画を実施した。</p> <p>2023年度は、例年通り舞子高校、葺合高校、神港橋高校、神戸工科高校の講義に加え、トルコ・シリア地震支援や能登半島地震支援を機に、「1.17 希望の架け橋」や「ワカモノデカラ」、「多大学プラットフォーム」などの高校生や大学生たちと協働する機会もあった。</p> <p>* 教育機関に関する主な動き:(神戸学院大学、親和女子大学以外)</p> <p>4/9 多大学プラットフォーム「被災地のいまから考える」で講演(吉椿)</p> <p>4/22 北陸学院大学で「トルコ・シリア地震」支援報告会(植田さん、島村さん、吉椿)</p> <p>4/23 ワンネススクール(金沢)で「トルコ・シリア地震」支援報告会 (植田さん、島村さん、吉椿)</p> <p>6/8 兵庫県教育委員会トルコ・シリア地震ヒアリング(山村、吉椿)</p> <p>6/10 防災教育学会で「トルコ・シリア地震」の講演(吉椿)</p> <p>6/12 藍那小学校で「トルコ・シリア地震」講演(吉椿)</p> <p>6/28 大阪大学人間科学部「共生の理論と実践」で講義(宮本副代表、吉椿)</p> <p>7/3 藍那小学校でトルコ・シリア地震の講演(吉椿)</p> <p>7/10 関西国際大学の村田教授、トルコ・シリア地震ヒアリング(吉椿)</p> <p>7/15 兵庫県立大学「防災の国際協力」で講義(吉椿)</p> <p>7/26 震災・学校支援チーム(Earth)で講演(吉椿)</p> <p>7/31 ワンネススクール(石川)で講演と「うちわプロジェクト」を実施(吉椿)</p> <p>8/3 筑波大学大学院生永田さん、トルコ地震支援のヒアリング(吉椿)</p> <p>9/7 筑波大学院生永田さんとトルコ・シリア地震の打ち合わせ(吉椿)</p> <p>9/13 JICA 関西で神戸女子大学「神戸と防災」の講義(吉椿)</p> <p>9/22 たつの市立御津小学校で講演とうちわ作成 (山本健一さん、植田さん、島村さん、山村、吉椿)</p> <p>10/18 関西学院大学千里国際高校、吉田さんヒアリング(吉椿)</p> <p>10/30 神港橋高校タウンミーティングで講演(山村、吉椿)</p> <p>11/13 ネブシェヒル大学オンライン交流会で発表(藤本さん、島村さん、植田さん、</p>
--	---

	近藤さん)
	11/24 舞子高校「災害と人間」で講義(吉椿)
	11/30 関西国際大学「アジアにおける市民防災エンパワメントプログラムの 共同開発」の打ち合わせ(吉椿)
	12/1 コープこうべ・関西学院大学人間福祉学部社会起業論 C 「生協と NGO の連携」で講義(村井理事)
	12/8 神戸大学国際人間科学部グローバルスタディーズプログラムで講義(吉椿)
	12/18 たつの市立御津小学校でトルコ・シリア地震の講演 (山本健一さん、植田さん、那須さん、山村、吉椿)
	12/20 関西学院大学ヒューマンサービス支援室主催「トルコ・シリア地震報告会 (上ヶ原)で報告(近藤さん、植田さん、吉椿)
	12/21 関西学院大学ヒューマンサービス支援室主催「トルコ・シリア地震報告会」 (三田)で報告(植田さん、吉椿)
	12/26 ワンネススクール(石川県)で講演(吉椿)
	1/10 龍谷大学「国際 NGO 論」で講義(吉椿)
	1/12 舞子高校「1. 17 震災メモリアル行事」で講演(山村)
	1/15 関西国際大学「国際防災協力」で講義(山村、吉椿)
	1/31 多大学プラットフォーム「能登半島地震報告会」で報告(吉椿)
	3/7 関西国際大学アジア提携校の学生に講義(吉椿)
	その他の団体との連携
	4/3 MBS ラジオ「ネットワーク 1.17」打ち合わせ(吉椿)
	4/6 神戸新聞取材 (島村さん)
	4/11 神戸新聞取材(吉椿)
	4/13 NHK ワールド取材(吉椿)
	4/14 MBS ラジオ「ネットワーク 1.17」に出演(吉椿)
	4/16 アーユス仏教国際協力ネットワーク「トルコ・シリア地震」のヒアリング(吉椿)
	4/18 日田リエラ、ウクライナ避難民食事会に参加(イローナさん、オクサーナさん、 松永さん、河井さん、頼政さん、村井理事、吉椿)
	4/19 生活クラブ生協都市生活「トルコ・シリア地震」のヒアリング(村井理事、吉椿)
	4/19 JICA 関西、関西 NGO 協議会と「関西 SDGs プラットフォーム ユース 分科会」の協議(吉椿)
	4/20 連合大阪「第 94 回大阪地方メーデー」の打ち合わせ(吉椿)
	4/21 神戸新聞取材(吉椿)
	4/24 兵庫県生協連合会「国際協同組合デー兵庫大会」の打ち合わせ(吉椿)
	4/26 神戸新聞取材(間野さん、吉椿)
	5/1 連合大阪「第 94 回大阪地方メーデー」で「トルコ・シリア」ブース出展と講演 (山村、吉椿)
	5/2 真如苑ヒアリング(山村、吉椿)
	5/7 みろく農園(網干)のイチゴ狩りにウクライナ避難者と参加

	<p>(ウクライナ避難者7名、山本健一さん、山村、島村さん、立部さん、吉椿)</p> <p>5/10 每日新聞取材(吉椿)</p> <p>5/12-13 レスキュー・ストックヤード「トルコ・シリア地震」支援報告会で報告 (植田さん、吉椿)</p> <p>5/15 日本 ホスピス・在宅ケア研究会「トルコ・シリア地震」支援報告会で報告 (吉椿)</p> <p>5/16 国際協同組合デー兵庫県記念大会パネル展示の打ち合わせ (江見さん、吉椿)</p> <p>5/19 ラジオ関西「ボランティアのいま～震災28年～」の収録(吉椿)</p> <p>5/24 NHK 震災30年企画でウクライナ避難者ヘビアーリング(吉椿)</p> <p>5/27-28 カミング KOBE でトルコ・シリア地震のパネル展示(植田さん、間野さん、 山村)(被災地 NGO 協働センターとコラボ)</p> <p>6/5 被災地 NGO 協働センター寺子屋「いのちとくらしを守るための講座」 「海外の支え合いから地域の大切さを学ぶ」で講演(吉椿)</p> <p>6/7 神戸新聞厚生事業団、山中さん来所(吉椿) 近畿ろうきん笑顔プラス贈呈式に出席(吉椿)</p> <p>6/8 NHK 国際取材(吉椿)</p> <p>6/9 NHK 京田さん取材(吉椿)</p> <p>6/12-13 震災がつなぐ全国ネットワーク「被災者支援の在り方を考える 震つな検討会」に出席(吉椿)</p> <p>6/14 RSY 機関誌「あるある」取材(山田光さん、吉椿)</p> <p>6/16 兵庫県ウクライナ支援課来所(山村、吉椿) 兵庫県生活協同組合連合会、江見さん来所(吉椿) ウクライナ支援イベント打ち合わせ(山村、吉椿)</p> <p>7/5 JICA 関西と国際協力入門の打ち合わせ(吉椿)</p> <p>7/7 国際協同組合デー兵庫県記念大会(兵庫県民会館)で CODEのトルコ・シリア地震支援のパネルを展示(吉椿) こうべ森の学校、大沼さん来所(山村、吉椿)</p> <p>7/9 日本防災士会で講演(吉椿)</p> <p>7/12 藤本憲志さん来所(村井理事、島村さん、植田さん、山村、吉椿)</p> <p>7/13 NVNAD 北村さんヒアリング(吉椿)</p> <p>7/20 ソロプチミスト日本財団年次贈呈式に出席(山村)</p> <p>7/28 NHK 国際取材(吉椿) CODE 寺子屋特別編「被災地を知る～災害現場の実践を通して～」 (藤本憲志さん)を開催(島村さん、植田さん、那須さん、斎藤さん、 村井理事、細川、山村、吉椿)</p> <p>8/3 とちぎコミュニティ基金で講演(吉椿)</p> <p>8/4 NHK「ぐるっと関西おひるまえ」に出演(島村さん、山村、吉椿)</p> <p>8/7 ウクライナ独立記念日イベント打ち合わせ(山村、吉椿)</p> <p>8/9 Family & Co.「夏休みわくわくワークショップ」にて「うちわプロジェクト」の実施</p>
--	---

	(樋上さん、山村)
	8/13 青少年活動サポートプラザにて「うちわプロジェクト」の実施(島村さん)
	8/15 JICA 関西と国際協力入門セミナーの打ち合わせ(吉椿)
	8/20 NPO 法人 a little の「8月の西宮ごはんとグッズライブ」にて 「うちわプロジェクト」の実施(山村、植田さん) 兵庫区子どもフェスタでブース出展、「うちわプロジェクト」の実施 (植田さん、黒瀬さん、山村)
	8/24 ウクライナ独立記念日イベントのサポート(山村)
	8/26 生活クラブ生活協同組合都市生活で講演(近藤さん、吉椿)
	8/27 Comm café にて「うちわプロジェクト」の実施(島村さん、那須さん)
	8/29 NVNAD とトルコ・シリア地震支援の打ち合わせ(島村さん、吉椿)
	8/30 JICA 関西、国際協力入門セミナーのリハーサル(吉椿)
	8/31 アーユス仏教国際協力ネットワーク関西交流会で講演(吉椿)
	9/14 JICA 関西、国際協力入門セミナーに登壇(吉椿)
	9/16 南丹市「防災シンポジウム」で講演(吉椿)
	9/29 FM わいわい「トルコ風炊き出し食」にブース出展(山村、吉椿、植田さん)
	9/30 静岡県ボランティア協会「トルコ・シリア地震と CODE の支援」で講演 (植田さん、山村、吉椿)
	10/11 「國際現代」水墨画協会、向山さん来所(山村、吉椿)
	10/12 神戸新聞取材(吉椿)
	10/15 「國際現代」水墨画協会主催第 27 回「國際現代」芸術展授賞式に参加 (島村さん)
	10/18 NHK 取材(吉椿)
	11/1 NHK 取材(吉椿)
	11/4 阪神・淡路大震災 1.17 伝承合宿に参加(村井理事、吉椿)
	11/6 兵庫県立大学本庄さん、トルコのヒアリング(吉椿)
	12/13 NHK 取材(吉椿)
	12/15 産経新聞取材(吉椿)
	12/19 NVNAD(西宮市立勤労会館)主催「トルコ・シリア地震報告会」で報告 (島村さん、植田さん、吉椿)
	1/5 NHK きん 5 時出演(吉椿) ほっともっと関西出演(吉椿)
	1/9 ラジオ関西電話取材(吉椿)
	1/11 MBS 撮影(街頭募金)
	1/12 JICA 関西打ち合わせ(吉椿)
	1/14 まちづくり研究所主催「能登半島地震報告会」で報告(山村、吉椿) 能登半島地震報告会 in 東遊園地で報告(山村、吉椿)
	1/16 長田合同庁舎で「能登半島地震」報告会(山村、吉椿)
	1/17 ひょうご安全の日のつどい「交流ひろば」でブース出展(黒瀬さん、 坂本さん、山村)

	<p>1/25 ワカモノデカラプロジェクト菅野さんと打ち合わせ(吉椿)</p> <p>1/26 ABC、MBS 取材(吉椿)</p> <p>2/2 JICA 関西草の根技術協力事業外部審査委員会(吉椿)</p> <p>2/5 全国防災関係人口ミートアップで講演(吉椿)</p> <p>3/20 能登半島地震報告会(兵庫県震災復興研究センター主催)に参加(吉椿)</p> <p>3/26 神戸新聞取材(山村、吉椿)</p>
--	--

事業名	4-(6) 海外のネットワーク構築事業
実施日時	随時
実施場所	各地
受益対象者の範囲及び予定人数	未定
実施内容	<p>① フィリピン</p> <p>2013年11月に発生したフィリピン台風災害を機にセブ島で活動するNGO ネットワーク「ABAG! Central Visayas」との関係を築き、その後もフィリピンでの災害の際はコンタクトを取っている。2020年からはコロナ禍での生活困窮者を支援する女性たちの動きをサポートし、2021年度は庭野平和財団の助成金を活用してコロナ禍の女性の活動を支援した。</p> <p>② 中国</p> <p>2008年の四川大地震以降、つながっている四川のNGO「NGO 備災センター(上厚公益服務センター)」、「四川尚明公益發展研究センター」、「壹基金」などとの連携を、2015年から実施している日中NGO・ボランティア研修交流事業をきっかけに深めてきた。2020年度は、コロナ禍において、国際アライアンス「IACCR」を先述のNGOと立ち上げ、世界14の国と地域のメンバーと情報を共有してきた。</p> <p>③ ネパール</p> <p>2015年4月に発生したネパール地震の救援活動を通じて Gudel Sherpa Community や同組織のシニアアドバイザーであるラクパ・シェルパさんと出会った。2016年度からは、耐震住宅再建プロジェクトを行ったグデル村のシャーレ地区の「シェルパ村落開発改善委員会」や「夢広の会パタンジェ」との関係を構築してきた。</p> <p>④ インドネシア</p> <p>2006年のインドネシア・ジャワ中部地震以降、連携しているエコ・プラウォトさん(デュタ・ワチャナキリスト教大学教授)や彼の建築家のネットワーク(インドネシア建築協会など)を通じて、2010年の青海省地震や2018年のロンボク島地震、スマルタ島地震津波、スンダ海峡火山津波の支援も展開してきた。エコさんも新型コロナ感染症対応の国際アライアンス「IACCR」のメンバーになっている。</p>

	<p>⑤ トルコ</p> <p>2023年2月に発生したトルコ・シリア地震で協働しているNGO、ACEV。1999年のマルマラ海地震の際に通訳をしていただいた岩城あすかさんの義弟であるハサンさんがACEVのコーディネーターを務めている。また、ガジアンテプ市内のNGOのメハメットさん(Active Participants Associationメンバー)も女性や子ども支援のNGOのネットワークを持っている。</p>
--	---

【5.「市民による災害救援」に関する調査・研究事業】

事業名	5-(1) CODE 寺子屋学習会
実施日時	随時
実施場所	CODE 事務所
受益対象者の範囲及び予定人数	役員、事務局員、CODE会員、関係者、一般
実施内容	<p>CODE 寺子屋は、これまで主にCODEの理事を講師として開催してきたが、2020年度からは、近畿ろうきんの協賛、関西NGO協議会と共に、外部のNGOの方などを講師として開催してきた。</p> <p>2023年度は、災害や紛争の多発する現在の状況を踏まえて、フォトジャーナリストとして世界各地の紛争地や被災地で取材している安田菜津紀さんをゲストに講演していただいた。詳細は以下の通り。</p> <p style="text-align: center;">◎CODE 寺子屋セミナー2023 * 6-(4)にも再掲 「災害・紛争、混とんとした時代に私たちはどんな未来を選ぶのか ～阪神・淡路大震災30年を目前に～」</p> <p>日 時: 2024年1月13日(土)13:30-15:30 場 所: 近畿ろうきん肥後橋ビル 12F メインホール 講 師: 安田菜津紀さん(認定NPO法人 Dialogue for People副代表) ディスカッション: 栗田佳典(関西NGO協議会事務局長) 森下晃司(近畿ろうきん地域共生推進室) 吉椿雅道(CODE海外災害援助市民センター事務局長)</p> <p>参加者: 65名</p> <p style="text-align: center;">◎CODE 寺子屋特別編「被災地を知る～災害現場の実践を通して～」 * 1-(4)トルコ・シリア地震支援に再掲</p> <p>日 時: 2023年7月28日(金)18:00-19:30 場 所: CODE 事務所 講 師: 藤本憲志さん(トルコ・ネブシェヒル大学日本語教師) 参加者: 16名</p>

	(島村さん、植田さん、那須さん、斎藤さん、村井理事、細川、山村、吉椿)
	<p>◎CODE 寺子屋特別編 「トルコ・シリア地震を経て阪神・淡路大震災 原点から学ぶ」</p> <p>日 時:2024年1月15日(月)18:00~21:00</p> <p>場 所:CODE 事務所</p> <p>講 師:村井雅清(CODE 理事)</p> <p>参加者:7名</p>

【6.「市民による災害救援」に関する啓発及び広報事業】

事業名	6-(1) 賛助会員の拡大
実施日時	随時
実施場所	CODE 事務所、その他
受益対象者の範囲及び予定人数	不特定多数
実施内容	<p>2023年度(2024年3月31日時点)の会員の状況:</p> <p>正会員 :27(団体2、個人25)</p> <p>賛助会員:123(団体0、個人123) 計:150名・団体</p> <p>*この数年の会員数の推移:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度 109名・団体 ・2019年度 144名・団体 ・2020年度 128名・団体 ・2021年度 120名・団体 ・2022年度 151名・団体 <p>2019年度からは、賛助会員の山本健一さんが地道に賛助会員加入の声掛けをしていただいていることや 2022年末に発生したトルコ・シリア地震支援で注目されたことで微増の状況が続いている。</p> <p>*リーフレットのカラー刷新</p> <p>2019年度に前スタッフがJICAの研修で学んだノウハウを生かして、新しいリーフレット案を作成したが、現在、岸本前理事にご協力いただき新たなデザインを検討していただいたが、実現には至っていない。</p> <p>*ソーシャルアクションリング(バナー広告)</p> <p>2015年度よりソーシャルアクションリングのHPでCODEを紹介してもらい、バナー広告をHPに貼る事で、毎年15000円の広告費を得ている。</p> <p>*Gochiso(ポイント寄付)</p> <p>Gochisoというサイトで、登録しているレストランの食事代のポイント還元を寄付に充て</p>

	る仕組みを2017年度から取り入れてきたが、2019年度からシステムチェンジをして現状、ほとんど寄付につながっていない。
--	--

事業名	6-(2) 救援プロジェクト報告会及び講師派遣
実施日時	随時
実施場所	全国各地
受益対象者の範囲及び予定人数	不特定多数
実施内容	<p>* 2023年度前期は、2022年度に引き続いだトルコ・シリア地震支援関係の報告や講演、後期は能登半島地震が起きたことで報告会や講演の依頼も増加した。</p> <p>○教育機関：神戸大学、神戸学院大学、親和大学、兵庫県立大学、大阪大学 関西学院大学、関西国際大学、北陸学院大学、龍谷大学、 神戸女子大学、舞子高校、葺合高校、神港橋高校、灘校、 藍那小学校、御津小学校（たつの市）、多大学プラットフォーム、 震災・学校支援チーム（Earth）、ワンネススクール、防災教育学会など</p> <p>○組合：コーポこうべ、近畿ろうきん、生活クラブ生活協同組合都市生活、連合大阪など</p> <p>○その他：関西NGO協議会、アーユス仏教国際協力ネットワーク、JICA関西NGO-JICA協議会、日本防災士会、静岡県ボランティア協会、レスキューストックヤード、日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）など</p> <p>* 当団体主催の報告会、講義は以下の通り。</p> <p>◎トルコ・シリア地震 第2次派遣報告会の開催 日 時：2023年4月15日（土）10:30～12:00 場 所：オンライン 報告者：島村優希（CODE インターン）、吉椿雅道（CODE 事務局長） 参加者：43名 主 催：CODE 海外災害援助市民センター</p> <p>◎トルコ・シリア地震 第3次派遣報告会の開催 日 時：2023年7月11日（火）19:00～20:30 場 所：オンライン 報告者：山村太一（CODE インターン）、吉椿雅道（CODE 事務局長） 参加者：75名 主 催：CODE 海外災害援助市民センター</p>

	<p>◎トルコ・日本ユースボランティア交流の報告会を開催 日 時:2023年11月12日(日)10:00~12:00 場 所:オンライン(* 報告者はコープこうべが会場) 報告者:植田隆誠さん(関西学院大学総合政策学部4年) 島村優希さん(大阪大学人間科学部4年) 那須公香さん(大阪大学外国語学部4年) 近藤明日花さん(関西学院大学人間福祉学部1年) 山村太一(CODEスタッフ) 参加者:オンライン70名 主 催: CODE 海外災害援助市民センター</p> <p>◎第4次派遣報告会の開催 日 時:2023年12月5日(火)18:30~20:00 場 所:オンライン 報告者:山村太一(CODE インターン)、島村優希さん(NVNADによる派遣) 吉椿雅道(CODE 事務局長) 参加者:20名 主 催: CODE 海外災害援助市民センター</p> <p>* 他団体からの講師依頼による派遣は以下の通り * 4-(6)にも再掲再掲</p> <p>4/9 多大学プラットフォーム「被災地のいまから考える」で講演(吉椿) 4/14 MBSラジオ「ネットワーク1.17」に出演(吉椿) 4/22 北陸学院大学で「トルコ・シリア地震」支援報告会(植田さん、島村さん、吉椿) 4/23 ワンネススクールで「トルコ・シリア地震」支援報告会 (植田さん、島村さん、吉椿) 5/1 連合大阪「第94回大阪地方メーデー」で「トルコ・シリア」ブース出展と講演 (山村、吉椿) 5/12 レスキューストックヤード「トルコ・シリア地震」支援報告会で報告 (植田さん、吉椿) 5/15 日本 ホスピス・在宅ケア研究会「トルコ・シリア地震」支援報告会で報告 (吉椿) 5/19 ラジオ関西「ボランティアのいま～震災28年～」の収録(吉椿) 5/25 近畿ろうきん相生支店で講演(吉椿) 6/5 被災地 NGO 協働センター寺子屋「いのちとくらしを守るための講座」 「海外の支え合いから地域の大切さを学ぶ」で講演(吉椿) 6/10 防災教育学会で「トルコ・シリア地震」の講演(吉椿) 6/12 藍那小学校で「トルコ・シリア地震」講演(吉椿) 6/28 大阪大学人間科学部「共生の理論と実践」で講義(宮本副代表、吉椿) 7/3 藍那小学校でトルコ・シリア地震の講演(吉椿) 7/9 日本防災士会で講演(吉椿)</p>
--	---

	<p>7/15 兵庫県立大学「防災の国際協力」で講義(吉椿)</p> <p>7/26 震災・学校支援チーム(Earth)で講演(吉椿)</p> <p>8/3 とちぎコミュニティ基金で講演(吉椿)</p> <p>8/4 NHK「ぐるっと関西おひるまえ」に出演(島村さん、山村、吉椿)</p> <p>8/26 生活クラブ生活協同組合都市生活で講演(近藤さん、吉椿)</p> <p>8/31 アーユス仏教国際協力ネットワーク関西交流会で講演(吉椿)</p> <p>9/13 JICA 関西で神戸女子大学「神戸と防災」の講義(吉椿)</p> <p>9/14 JICA 関西、国際協力入門セミナーに登壇(吉椿)</p> <p>9/16 南丹市「防災シンポジウム」で講演(吉椿)</p> <p>9/22 たつの市立御津小学校で講演とうちわ作成 (山本健一さん、植田さん、島村さん、山村、吉椿)</p> <p>9/27 コープこうべ 2023年度第2回平和企画の会で講演(吉椿)</p> <p>9/30 静岡県ボランティア協会「トルコ・シリア地震と CODE の支援」で講演 (植田さん、山村、吉椿)</p> <p>10/30 神港橋高校タウンミーティングで講演(山村、吉椿)</p> <p>11/24 舞子高校「災害と人間」で講義(吉椿)</p> <p>12/1 コープこうべ・関西学院大学人間福祉学部社会起業論 C 「生協と NGO の連携」で講義(村井理事)</p> <p>12/8 神戸大学国際人間科学部グローバルスタディーズプログラムで講義(吉椿)</p> <p>12/18 たつの市立御津小学校でトルコ・シリア地震の講演 (山本健一さん、植田さん、那須さん、山村、吉椿)</p> <p>12/19 NVNAD(西宮市立勤労会館)主催「トルコ・シリア地震報告会」で報告 (島村さん、植田さん、吉椿)</p> <p>12/20 関西学院大学ヒューマンサービス支援室主催「トルコ・シリア地震報告会 (上ヶ原)で報告(近藤さん、植田さん、吉椿)</p> <p>12/21 関西学院大学ヒューマンサービス支援室主催「トルコ・シリア地震報告会」 (三田)で報告(植田さん、吉椿)</p> <p>12/26 ワンネススクール(石川県)で講演(吉椿)</p> <p>1/5 NHK きん5時出演(吉椿) ほっともっと関西出演(吉椿)</p> <p>1/10 龍谷大学「国際 NGO 論」で講義(吉椿)</p> <p>1/12 舞子高校「1.17震災メモリアル行事」で講演(山村)</p> <p>1/14 まちづくり研究所主催「能登半島地震報告会」で報告(山村、吉椿) 能登半島地震報告会 in 東遊園地で報告(山村、吉椿)</p> <p>1/15 関西国際大学「国際防災協力」で講義(山村、吉椿)</p> <p>1/16 長田合同庁舎で「能登半島地震」報告会(山村、吉椿)</p> <p>1/19 コープこうべ総代研修会(姫路)でトルコ・シリア地震若者企画の報告(山村)</p> <p>1/22 コープこうべ総代研修会(池田)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (那須さん、山村)</p> <p>1/25 コープこうべ総代研修会(神戸)でトルコ・シリア地震若者企画の報告</p>
--	--

	(近藤さん、山村、吉椿)
	1/29 コープこうべ総代研修会(西宮)でトルコ・シリア地震若者企画の報告 (山村、吉椿)
	1/31 多大学プラットフォーム「能登半島地震報告会」で報告(吉椿)
	2/5 全国防災関係人口ミートアップで講演(吉椿)
	3/7 関西国際大学アジア提携校の学生に講義(吉椿)
	3/12 NGO-JICA 協議会で能登半島地震支援の報告(吉椿)
	3/24 コープこうべ学びあいフェスタでトルコ・シリア地震の報告とブース出展 (山村)

事業名	6-(3) 機関誌及びインターネットによる情報発信
実施日時	機関誌は年3回発行、 メーリングリスト、インターネットは随時発信
実施場所	CODE 事務所
受益対象者の範囲及び予定人数	機関誌は全国各地へ約1500通発送 インターネットは不特定多数
実施内容	<p>現在、CODEの情報発信は、HP、メーリングリストに加え、SNSを活用した広報としてTwitterやFacebook、インスタグラムを活用している。</p> <p>2020年度に真如苑の基盤強化の助成金を活用して、ホームページの刷新を船曳桃子さんのご協力で行った。</p> <p>* 2021年8月にアフガニスタンの政変が起きたことにより、現地の人たちに迷惑がかからないようにCODEのHPのアフガニスタンのページを現在も閉鎖している。また、FBでも過去のアフガニスタンの記事の個人名、地域、写真をイニシャル変更、削除することで対応した。</p> <p>* CODEレターの発送状況</p> <p>2016年度9月発行のVol.56より機関誌「CODEレター」をカラー化し、年間3回発行してきた。</p> <p>2023年度は、トルコ・シリア地震があった事で、会員以外の寄付者にもCODEレターは発送している事から、発送数は以下の通り増加している。</p> <p>Vol.71(2023/4/21発行)は、1382部発送 Vol.72(2023/9/11発行)は、1376部発送 Vol.73(2023/12/20発行)は、1419部発送 Vol.74(2023/4/24発行)は、1425部発送</p> <p>* SNSの状況</p> <p>スタッフの山村や学生スタッフの島村さんがインスタグラムを活用してCODEの活動を若者向けに丁寧に発信してくれたことで各SNSのフォロワーが増加している。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・FaceBook CODE の FaceBook に「いいね」をした人は、1850 人(2024 年 5 月時点) (2015 年度末は 648 人、2016 年度末は 1125 人、2017 年度末 1295 人、 2018 年度末 1407 人、2019 年度末 1484 人、2020 年度末 1540 人、 2021 年度末 1581 人)、2022 年度末 1795 人 ・FaceBook のフォロワー: 2052 人 (2020 年度末 1616 人、2021 年度末 1680 人、2022 年度末 1967 人) ・Twitter のフォロワー: 654 人 (2020 年度 512 人、2021 年度 512 人、2022 年 818 人) ・インスタグラムのフォロワー: 1008 人 (2020 年度末 628 人、2021 年度末 747 人、2022 年度末 818 人)
--	--

【7. その他本会の目的のために必要な事業】

事業名	7-(1) CODE・AID 設立のための準備 * 名称を「組織基盤の強化に関して」に変更
実施日時	随時
実施場所	CODE 事務所
受益対象者の範囲及び予定人数	不特定多数
実施内容	<p>2019 年度より本格的に認定 NPO 法人の取得に向けて動き出し、会計に関する今中一壽一税理士(ひまわり会計事務所)にご協力いただき、これまでの会計処理を修正し、認定取得に向けて、市民活動センター神戸(認定 NPO 法人相談窓口事業を神戸市から受託している団体)や神戸市などと協議を行ってきた。また、榛木理事とも認定 NPO 法人を取得いた 2 団体(テラルネットサンス、アクセス)を訪問し、ヒアリングを行った。</p> <p>2023 年度は、これまで CODE の会計業務や認定 NPO 法人取得に尽力していただいた今中一壽さん(ひまわり税理士事務所)から沖村朝之さん(沖村税理士事務所)に引き継ぎ、沖村税理士は毎月数回事務所を訪問いただき、会計だけでなく、認定 NPO 法人取得に向けて就業規則や給与規定などの書類の整備なども作成いただいている</p> <p>また、通常の理事会・総会の開催のほか、事務所移転に向けて事務局スタッフで以下の通り、複数回にわたり物件を探してきたが、2024 年 1 月の能登半島地震対応のために、現在は、移転を延期している。</p> <p>*理事会・総会の開催</p> <p>4/28 CODE 理事会</p> <p>6/4 CODE 理事会・総会</p> <p>9/29 CODE9 月度理事会</p> <p>12/12 CODE12 月度理事会</p> <p>2024/2/29 CODE2 月度理事会</p>

	<p>* 2023年度の主な動き:</p> <p>5/10 事務局業務の引継ぎ(立部さん、山村)</p> <p>5/15 事務所移転に関するミーティング(村井理事、細川、山村、吉椿) 事務局業務引継ぎ(立部さん、山村)</p> <p>5/26 今中税理士、沖村税理士と打ち合わせ(吉椿)</p> <p>6/8 沖村税理士来所(細川、吉椿)</p> <p>7/4 事務所内覧(村井理事、頼政さん、増島さん、山村、吉椿)</p> <p>7/14 事務所移転ミーティング(村井理事、頼政さん、増島さん、山村、吉椿)</p> <p>7/28 事務所内覧(村井理事、頼政さん、増島さん、山村、吉椿)</p> <p>8/17 事務所内覧(村井理事、頼政さん、山村、吉椿)</p> <p>8/18 事務所内覧(村井理事、頼政さん、山村、吉椿)</p> <p>9/5 事務所内覧(村井理事、頼政さん、増島さん、山村、吉椿)</p> <p>10/4 事務所内覧(村井理事、増島さん、山村、吉椿)</p>
--	--